SR-9080 ビデオカセットレコーダー

お客様ご相談センター

東　京

☎ (03)5684-9311［代表］

〒113-0033 東京都文京区本郷3丁目14-7 ビクター本郷ビル

大　阪

☎ (06)6765-4161［代表］

〒543-0028 大阪市天王寺区小橋町10-16 大阪ビクタービル

Victor JVC

日本ビクター株式会社

プロビデオ事業部

〒192-8620　東京都八王子市石川町2969-2　電話（0426）60-7244［ダイヤルイン］

© 1998 VICTOR COMPANY OF JAPAN, LIMITED

SL96146-002

タイムラプス VTR
SR-9080

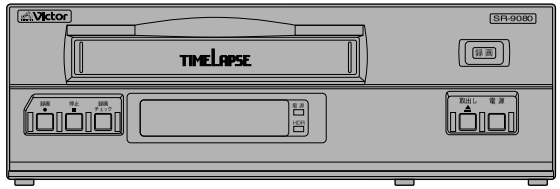
Victor

ビデオカセットレコーダー

型名 SR-9080

取扱説明書

TIMELAPSE



お買い上げありがとうございます。
ご使用の前にこの「取扱説明書」と添付の「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
そのあと、保証書と一緒に大切に保管し、必要なときお読みください。

製造番号は品質管理上重要なものです。お買い上げの際は本機のリアパネル部に製造番号が正しく記されているか、またその製造番号と保証書に記載されている製造番号が一致しているかお確かめください。

私たちは環境・資源をたいせつにしています。
この取扱説明書はエコマーク認定の再生紙（古紙50%含有）を使用しています。

SL96146-002

はじめに
名称とはたらき
接続
オンスクリーン&メニュースイッチ
準備
録画
再生 特殊再生
トラブル対応
別売 RS-232C
付録

このたびはビデオカセットレコーダー SR-9080 を お買いあげいただきありがとうございます。

SR-9080 の機能をフルに生かすためこの“取扱説明書”および添付の“安全上のご注意”をよくお読みいただきますようお願いいたします。

おもな特長

● **最長 960 時間の長時間間欠録画**
2（SPモード）･6（EPモード）･L12/L18/L24/24/48/72/120/168/240/480/960タイムラプスモードの時間モードから記録設定できます。
L12, L18, L24タイムラプスモード時は映像と共に音声も記録します。

● **高解像度録画**
カラーモードでも水平解像度300本以上を実現します。
※本機で記録したテープを他機で再生すると、画面にノイズが出ることがあります。

● **高密度録画（HDR録画）機能**
EPヘッドを用いて、細かなピッチでテープを送り、タイムラプス録画します。
通常のタイムラプス録画に比べて、同じ間欠記録時間内で約3倍の情報を録画するため、よりこまかな状況を確認できます。ただし、画質は通常タイムラプスモードよりも劣ります。
テープに記録できる時間は通常タイムラプス録画と同じです。
（メニュースイッチ「HDR 録画」で選択）

● **アラーム録画機能**
録画時にアラーム信号が入力されると2/6時間モードに自動に切換わります。アラーム録画時間は、5, 10, 15, 30, 60, 120, 180 秒、テープ終端、マニュアルの中から選択できます。
アラーム録画の開始時点には、アラームキュー信号としてインデックスコードを記録、アラーム録画箇所の呼び出しが簡単にできるアラームサーチ機能を搭載しています。

● **センサー録画**
停止モード時（停止, タイマー録画待機, 電源切状態）、アラーム信号が入力されると録画状態になります。

● **タイムデートジェネレーター**
録画と同時に、年、月、日、時、分、秒を記録可能なタイムデートジェネレーターを搭載し、また、アラーム回数とアラーム時間、停電回数と停電時間をモニターに表示できます。

● **タイマー録画機能**
毎日、毎週、ウィークデーのタイマー録画を 8 プログラムまで設定できます。
また、年間 16 日まで、休日など指定した日付でのタイマー録画を設定できます。

● **テープ位置検索機能**
サーチモードの選択により、アラーム録画開始部分の頭出しや一覧、および指定した日･時の録画部分の頭出しができます。

● **録画チェック機能**
録画中に録画チェックボタンを押すと録画状態の確認が行なえます。

● **シークレットロックシステム採用**
不意の誤操作や故意の悪戯を未然に防止できるシークレットロックシステムを採用。

● **カメラ切換信号出力端子**
シーケンシャルスイッチャーを使用することによって、カメラ切換信号出力信号により複数台のカメラ映像を自動的に切替えて録画を行なえます。

● **異常検知機能**
つゆつきや、カセット取り出し、テープローディング、回転系の動作モード異常時にフロントパネルにエラー表示します。

● **パワーオフビデオスルー機能**
電源 OFF 時でもカメラからの EE 入力を出力できます。

● **シリーズ録画機能**
本機を複数台接続することで長時間の録画が行なえます。

● **停電復帰録画**
停電後、自動的に停電前の録画モードで録画を再開します。

● **タイムアジャスト機能**
タイムアジャスト用にIN/OUT 端子を装備し、本機を複数台接続して常に、時間誤差を“0”にすることが可能です。
（アジャスト信号出力時刻 AM12:00/PM12:00）

● **デジタルアワーメーター表示**

● **リピート再生／録画**

● **アラーム録画、テープエンドおよびワーニング電子ブザー**

● **外部起動信号による録画制御可能**

● **カウンターエンド機能**

● **外部タイマー接続可能**

● **AC アウトレット装備（最大供給電力 300W）**

● **ワイヤードリモコン RM-G30（別売）接続可能**

（別売）RS-232C インターフェースボード
SA-K97 装着時

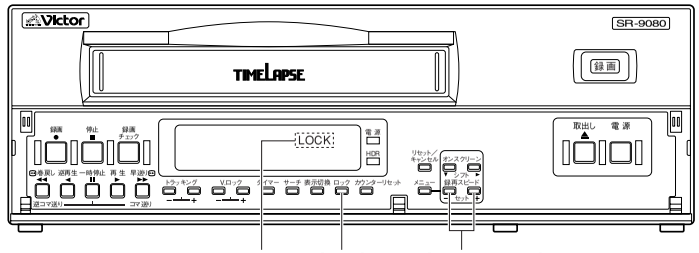
● **RS-232C コントロール可能**
パーソナルコンピューターで本機を操作することができ、同時に各種ステータスを読み出すことができます。

万一本機およびビデオカセットテープ等の不具合により、正常に記録されなかったり、再生できなくなった場合、その内容の補償についてはご容赦ください。

テレビ放送や録画（録音）物などから、録画（録音）したものは、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。

オペレーションロックのしかた

本機は誤操作や故意の悪戯で録画動作、電源の解除を未然に防止するシークレットロックシステム［オペレーションロック］を採用しています。
この操作をすると操作ボタンの機能は働かなくなります。
ただし、リモコンによる操作は受け付けます。



1. 本機を録画や再生などオペレーションロックしたいモードにします。

2. ［ロック］ボタンを先に押しながら［録再スピード＋］または［録再スピード－］ボタンを押すと、ディスプレイ部に“LOCK”表示し、オペレーションロック状態になります。

3. 解除するには、［ロック］ボタンを先に押しながら［録再スピード＋］または［録再スピード－］ボタンを押します。ディスプレイ部の“LOCK”表示が消灯し、本機は操作可能状態になります。

※ 防犯上のため、このシートは切取って保存しておかれることをおすすめします。

目　次

第１章　はじめに 6
1-1　定期保守点検について 6
1-2　正しくお使いいただくためのご注意 7
1-3　日常点検について 7

第２章　各部の名称とはたらき 8
2-1　フロントパネル部 8
2-2　ディスプレイ部 10
2-3　リアパネル部 11

第３章　接続のしかた 13
3-1　カメラ１台との接続 13
3-2　シーケンシャルスイッチャーを使ったシステム 14
3-3　背面、ハーモニカ端子の接続 15

第４章　オンスクリーン／メニュースイッチについて 16
4-1　オンスクリーン表示について 16
4-2　メインメニュー表示について 17
4-3　日付･時刻設定のしかた 18
4-4　アワーメーター表示 19
4-5　アラーム入力／停電データ表示 20
4-6　メニュースイッチ設定のしかた 21
4-7　メニュースイッチの内容 22

第５章　準備 26
5-1　カセットの出し入れ 26
5-2　録画／再生スピードモードの選び方 27

第６章　録画のしかた 28
6-1　録画時のスイッチ設定 28
6-2　録画の基本操作 29
6-3　タイマー録画のしかた 30
・タイマープログラム予約設定 30
・休日タイマー録画設定 34
・タイマー録画予約の取消／変更 35
・タイマー録画時のご注意 36
6-4　アラーム録画のしかた 37
6-5　センサー録画のしかた 39
6-6　シリーズ録画のしかた 40
6-7　リピート録画のしかた 42
6-8　外部の VTR 起動信号による録画のしかた 43
6-9　停電復帰録画のしかた 44
6-10　外部タイマー録画 44
6-11　テープエンド警告ブザーについて 44

第７章　再生･特殊再生について 45
7-1　再生時の設定について 45
7-2　再生のしかた 45
7-3　特殊再生のしかた 46
・静止画再生／コマ送り再生／逆再生 46
・シャトルサーチ再生のしかた 47
7-4　アラームサーチ／日時サーチのしかた 48
7-5　リピート再生 50
7-6　カウンターメモリーについて 50
7-7　トラッキング／V. ロック調節のしかた 51
7-8　V. パルスについて 51

第８章　トラブル時の対応 52
8-1　エラー表示の出るトラブル 52
8-2　エラー表示の出ないトラブル 53

第９章　（別売）SA-K97 RS-232C インターフェースボードについて 54
9-1　SA-K97 の取付 54
9-2　SA-K97 の仕様 55
9-3　SA-K97 RS-232C プロトコル＆コマンド 55

第 10 章　付録 61
10-1　テープリールカウンター／テープ残量対応表 61
10-2　背面パネルハーモニカ端子信号について 62
10-3　保証とアフターサービスについて 63
10-4　仕様 63

第１章　はじめに

1-1　定期保守点検（メンテナンス）について

ビデオカセットレコーダーは、精密な機構部品で構成されています。本機を業務用としてお使いの場合は、計画的なメンテナンスが必要です。メンテナンスの計画の際に役立つ内容について記載していますので良くお読みの上、本機を末永くご愛用ください。

●メンテナンスとは
自動車の場合のオイル交換やタイヤの交換に相当するもので、長期間の使用に際して必ず必要となるものです。ビデオカセットレコーダーの場合も同様で、メンテナンスをしないで使用を続けると

・録画や再生ができなくなる
・画像や音声が乱れる
・ワーニング（動作停止）になる

などの故障になります。
これらの故障は消耗部品の磨耗や劣化（変形、変質）が原因であることが多く、また、保証期間内であっても消耗部品による修理は有償になります。その上、突然の故障発生のため業務に支障を起こすだけでなく、場合によっては貴重なビデオテープの損傷につながることもあります。なお、保証期間の内容などについては、保証書をご覧ください。

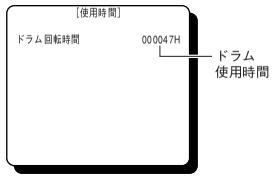
●使用時間の管理
家庭用のビデオカセットレコーダーの通常の使用頻度で5～6年分に当たる使用時間が業務用では5～6ケ月で達することもあります。使用時間の管理が大切です。1日当たりの使用時間ごとの経過月数における累積使用時間は次のようになります。目安としてください。

1日の使用時間	1ヶ月	2ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	12ヶ月
2時間	60	120	180	360	720
8時間	240	480	720	1440	2880
12時間	360	720	1080	2160	4320
24時間	720	1440	2160	4320	8640

部の時間を経過したらメンテナンスをご検討ください。

使用時間の算出
本機の使用時間はアワーメーターの表示でより正確に確認できます。

アワーメーターの表示



アワーメーターはドラム使用時間をモニター画面にオンスクリーン表示します。アワーメーター表示のしかたは、19ページ「使用時間（アワーメーター）について」をご覧ください。
・使用時間管理の目安としてください。

●メンテナンスの内容
使用時間によって次のような機構部品の清掃、点検または交換を実施します。

使用時間	1000H	2000H	3000H	4000H
ドラム組立（ヘッド含む）	△	○	○	●
ピンチローラー	△	○	○	●
駆動部品	△	△	△	○

△：クリーニング
○：点検または必要に応じて交換
●：交換

実施内容は機種、使用環境、使用方法によって大きく異なることがあります。目安としてお考えください。
内蔵のリチウムバッテリーは約2年間を目安に、交換してください。

●メンテナンスのご相談は
メンテナンスの計画、費用などのご相談は、ご購入先の販売店または、別紙のサービス窓口案内をご覧になり最寄りのビクターサービスセンターへお願いします。

第１章　はじめに（つづき）

1-2　正しくお使いいただくためのご注意

取扱いや保管場所について

■ つぎのような場所でのご使用は避けてください。
・極端に暑いところや寒いところ
・強い磁気や電波の発生するところ
本機から2m以内のトランシーバーのご使用は避けてください。
・ゴミ、ほこりや湿気の多いところ
・振動の激しいところ
・温度差の激しいところ

■ 本機を立てて使用しないでください。
水平状態でご使用ください。

■ 機器内部の温度上昇を防ぐため、本機の通気孔をふさいだり、機器を重ねて使用しないでください。
テープを傷める原因となります。

■ ポーズ/スチル状態を長時間続けないでください。
・テープを傷める原因となります。約3分経過すると、自動的に停止状態になります。

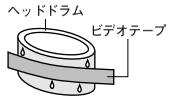
■ 本機はていねいにお取扱いください。
・本機の上にモニターテレビなど重いものをのせないでください。動作不良をおこす恐れがあります。本機の電源出力端子にモニターテレビは接続しないでください。
・カセット挿入口に異物などを入れないでください。
・輸送するときは急激なショックを与えないでください。また、輸送するときはカセットテープを取り出してください。
・本機のキャビネットはやわらかい布でふいてください。シンナーやベンジンなどではふかないでください。表面がとけたり、くもったりします。よごれがひどいときは中性洗剤を水でうすめてふき、あとでからぶきしてください。

■ 節電のため使用しないときは電源を切ってください。

つゆつき（結露）について

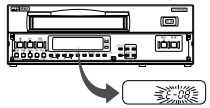
■ “つゆつき”とは
・よく冷えたビールをコップにつぐと、コップのまわりに水滴が付きます。この状態を“つゆつき”（結露）といいます。つゆつき状態になると、VTRのヘッドドラムのまわりに水滴が付き、テープが貼りついて、テープを傷めてしまいます。

■ “つゆつき”はこんなときにおきます。
・VTRを冷たいところから、急に暖かいところに移動したとき
・暖房した直後の部屋やエアコンなどの直接冷風のあたるところ
・湿気の多いところ

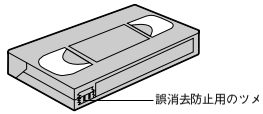


■ “つゆつき”をおこしそうなときは
あらかじめVTRの電源を入れておくと“つゆつき”がおきにくくなります。

■ “つゆつき”が起きてしまったら
本機はつゆつき状態になると、自動的にカセットをイジェクトし、ディスプレイ部にエラー表示“E-08”を点滅表示します。このとき、本機の操作は受け付けません。電源を入れた状態でディスプレイ部の“E-08”表示が消灯するのを待ってご使用ください。



ビデオカセットについて



※タイムラプスは長時間記録を行いますので、耐久性のあるテープを使う必要があります。T-160など160分以上の長時間テープは使用しないでください。

・本機には VHS マークのついたビデオカセットをご使用ください。
・カセットには誤消去防止用のツメがついています。消したくないカセットはツメを折っておくと安心です。また、ツメの折られているカセットで録画・録音するときはツメの部分にセロハンテープを貼ってお使いください。
・カセットは裏がえしでは使えません。
・不均一な巻取り状態のままでの保管は避けてください。テープをいためる原因になります。テープの始めまで巻戻してから保管してください。

1-3　日常点検について

本機は長時間の使用は可能ですが、日常点検によって異常のないように使用されることをおすすめします。特に、リピート録画の場合は日常点検を怠らずに行なってください。

点検の手順

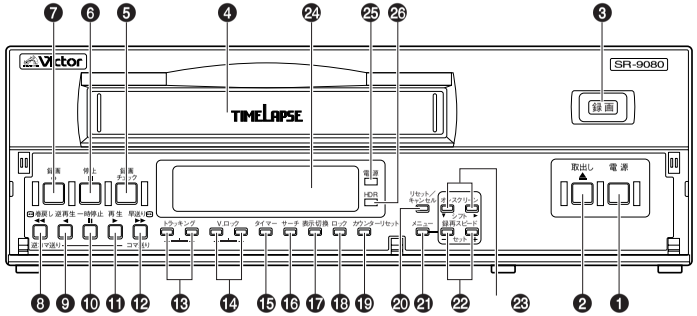
1. 本機と、カメラ、モニターテレビなど監視システムの電源を入れます。
2. モニターテレビに正しい映像が出ていますか。
3. モニターテレビの日付、時刻表示画面の日付・時刻が合っていますか。
4. 前日、録画したテープを数秒間（数カウント）巻戻しします。
5. 再生ボタンを押して再生します。
6. 再生画像は正常ですか。
7. 記録されている日付・時刻に異常ありませんか。

■本機には［録画チェック］ボタンによる録画チェック機能を備えています。日常的な確認にご利用ください。

点検後、万一、異常が確認されたときは電源を切り電源コードをコンセントから抜いた後、お買い求めの販売店にご相談ください。

第２章　各部の名称とはたらき

2-1　フロントパネル部



❶［電源］ボタン
電源の入／切ボタンです。電源が入ったとき、㉕電源インジケーターおよびディスプレイが点灯します。また、カセットを入れると自動的に電源が入ります。

❷［取出し］ボタン
カセットテープを取り出すとき、このボタンを押します。
※ 録画中、このボタンを押してもカセットテープは取り出せません。

❸［録画］インジケーター
本体表示設定のメニュースイッチ「録画LED」を“入”に設定すると、録画時、このインジケーターが点灯します。

❹カセット挿入口
カセットテープの取出し、挿入をします。VHSカセットテープを使用します。

❺［録画チェック］ボタン
録画チェックするとき使用します。
録画モード時このボタンを押すと、約5秒間逆再生した後2Hまたは6H再生モードとなり、録画の状態を確認します。再生した後、録画を中断した所から再び録画モードに戻ります。録画チェック時、音声は出力しません。
・録画チェック時、画質不良と判断した場合、自動的にヘッドクリーニング動作を行ない、ディスプレイ上にエラーコード“E-09”を約10秒間表示します。この状態でも、VTRは録画を続けます。

❻［停止］ボタン
カセットテープを停止させるとき、このボタンを押します。

❼［録画］ボタン
停止状態から、録画状態にするとき、このボタンを押します。

❽［巻戻し］ボタン
・カセットテープを巻戻すとき、このボタンを押します。
・再生時にこのボタンを押すと、巻戻し再生します。
・⑯［サーチ］ボタンでサーチモードを指定した場合、このボタンを押すと、巻戻し方向にアラームサーチや日時サーチ動作します。
・巻戻し方向にコマ送り再生するときにも使用します。

❾［逆再生］ボタン
録画、録画一時停止、録画チェック以外の時、このボタンを押すと逆再生します。

❿［一時停止］ボタン
・録画時にこのボタンを押すと、録画一時停止状態となります。
・再生時にこのボタンを押すと、静止画再生状態となります。
・静止画再生時、このボタンを押しながら、［早送り］または［巻戻し］ボタンを押すと、押す毎に、早送り方向または巻戻し方向にコマ送りします。（［早送り］または［巻戻し］ボタンを2秒以上押し続けると、連続コマ送り再生状態となり、約3分後、停止モードになります。）

⓫［再生］ボタン
・再生するとき、このボタンを押します。
・録画一時停止時、このボタンを押すと録画モードになります。

⓬［早送り］ボタン
・カセットテープを早送りするとき、このボタンを押します。
・再生時にこのボタンを押すと、早送り再生します。
・⑯［サーチ］ボタンでサーチモードを指定した場合、このボタンを押すと早送り方向にアラームサーチや日・時サーチ動作します。
・早送り方向にコマ送り再生するときにも、使用します。

第２章　各部の名称とはたらき（つづき）

2-1　フロントパネル（つづき）

⓭［トラッキング＋/－］ボタン
再生およびコマ送り再生時にノイズがあるとき、このボタンを押し、ノイズがなくなるようにトラッキング調節します。
＋と－ボタンを同時に押すと、トラッキングはプリセット状態に戻ります。

※ L12H, L24Hリニアスロータイムラプス再生モード時、トラッキング調節はできません。

⓮［V.ロック＋/－］ボタン
静止画再生、コマ送り再生およびリニアスロー再生時、このボタンを押して画面の上下の揺れを少なくするように調節します。

⓯［タイマー］ボタン
タイマー録画時にこのボタンを使用します。詳しくは30ページをご参照ください。

⓰［サーチ］ボタン
アラーム録画部分の検索や指定した日時の録画部分の検索をするとき、使用します。停止時、このボタンを押してサーチモードを選択します。
・1回押すと、アラームサーチモードになります。
・2回押すと、アラームスキャンモードになります。
・3回押すと、日時サーチモードになります。
・4回押すと、サーチモードが解除します。
このボタンでサーチモードを選択した後、［早送り］ボタンまたは［巻戻し］ボタンを押すと、選択したモードでサーチ動作します。
詳しくは48ページをご覧ください。

⓱［表示切換］ボタン
本体ディスプレイの表示内容を選択するボタンです。このボタンを押す毎に現在時刻、コントロールテープカウンター（$00_H00_M00_S$～$23_H59_M59_S$）、リールテープカウンター（0～9999）表示に変わります。

⓲［ロック］ボタン
オペレーションをモードロックするためのボタンです。

⓳［カウンターリセット］ボタン
ディスプレイ表示がコントロールテープカウンターまたはリールテープカウンター表示の場合、このボタンを押すと“$00_H00_M00_S$”または“0000”にリセットします。

⓴［リセット／キャンセル］ボタン
・タイマープログラム設定モード時、このボタンを押すと、プログラム内容がキャンセルされます。詳しくは35ページをご参照ください。
・アラーム録画を止める場合や本機にメモリーされたアラーム入力データ、パワーロス（停電）データをリセットする場合、このボタンを押します。詳しくは20, 38ページをご参照ください。
・メニュー設定以外のモード時、このボタンを押しながら⓳［カウンターリセット］ボタンを押すと、時刻の秒の桁が次の様にリセットされます。
・29秒以下の場合、秒の桁が“00”にリセットされます。
・30秒以上の場合、秒の桁が“00”にリセットされ分の桁が繰り上がります。
12:34:29 → 12:34:00
12:34:30 → 12:35:00

㉑［メニュー］ボタン
モニターに日付時刻設定、タイマープログラム設定、各種メニューの設定画面やアワーメーターを表示するためのボタンです。もう一度、このボタンを押すと設定画面やアワーメーター表示が消えます。

㉒［録再スピード／セット＋/－］ボタン
・録画および再生スピードモードを選択します。
動作設定のメニュースイッチ「HDR録画」の設定によって、設定できる録画／再生スピードが異なります。
このボタンを押す毎に録画／再生スピードモードが次のように変わります。録画／再生スピードモードはディスプレイ部に表示されます。

（HDR録画：“切”の場合）	（HDR録画：“入”の場合）
2H：標準	2H：標準
6H：3倍	6H：3倍
L12H：12時間SPリニアスロー	L18H：18時間EPリニアスロー
L24H：24時間SPリニアスロー	24H：24時間EP間欠
48H：48時間SP間欠	48H：48時間EP間欠
72H：72時間SP間欠	72H：72時間EP間欠
120H：120時間SP間欠	120H：120時間EP間欠
168H：168時間SP間欠	168H：168時間EP間欠
240H：240時間SP間欠	240H：240時間EP間欠
480H：480時間SP間欠	480H：480時間EP間欠
960H：960時間SP間欠	960H：960時間EP間欠

・日付時刻設定、タイマープログラム設定およびメニュースイッチ設定時、このボタンで設定値をセットします。

㉓［オンスクリーン／シフト］▼/▶ボタン
・通常画面時、オンスクリーン情報の表示および記録位置を移動します。▼ボタンを押すと、下方向に、▶ボタンを押すと、右方向にオンスクリーン表示が移動します。
・メニュー画面時、日付時刻設定、タイマープログラム設定およびメニュー、スイッチ設定項目をこのボタンで選びます。

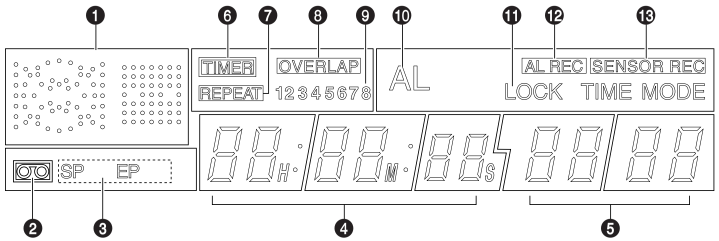
㉔ディスプレイ部
詳しくは10ページをご参照ください。

㉕［電源］インジケーター
電源が入ったとき点灯します。

㉖［HDR］インジケーター
HDR録画および再生時、点灯します。
※ HDR：High Definite Recording（高密度記録）の略
・HDR録画については27ページをご覧ください。

第２章　各部の名称とはたらき（つづき）

2-2　ディスプレイ部



❶ 動作モード表示
動作モードを表示します。

再生マーク	録画マーク	巻戻しマーク	早送りマーク	コマ送り再生マーク
静止画マーク	録画一時停止マーク	巻戻し再生マーク	早送り再生マーク	逆再生マーク

・録画／録画一時停止の◌マークは赤色で表示されます。

❷ （カセット）表示
カセットが入っている状態の時点灯し、取り出すときは点滅します。

❸ SP／EP 表示
録画／再生中、標準モード（2H）を SP、3倍モード（6H）を EP で表示します。通常タイムラプス録画／再生時は SP 表示になります。HDR（高密度記録）モードの記録中または、HDR モード記録部分の再生時は EP 表示になります。

❹ テープカウンター／時刻表示
・電源が入っている時、現在時刻（時：分：秒）、テープコントロールカウンター（$00_H00_M00_S$～$23_H59_M59_S$）またはテープリールカウンター（0～9999）を表示します。表示の選択は［表示切換］ボタンで行ないます。
電源が切れている時、現在時刻を表示します。
カセットテープをイジェクトすると、テープコントロールカウンターおよびテープリールカウンターはリセットされます。
・カウンターエンド出力機能を使ってのオートリワインドまたはリピート録画時、カセットテープがテープ頭に巻戻されると、テープコントロールカウンターおよびテープリールカウンターはリセットされます。
・タイムラプスモード時、コントロールおよびリールカウンターはゆっくりとカウントアップします。
タイムラプスモード時、コントロールカウンターは2Hまたは6Hモード再生時に相当する時間を表示します。
（例：960H 通常タイムラプスモード時コントロールカウンターは約8分間で1秒進みます。）
・日･時サーチ設定および動作時、秒の桁に“td”を表示します。
・メニュースイッチ設定時は設定項目を表示します。

❺ 録画／再生スピード表示
・通常、［録再スピード］ボタンで設定した録画／再生スピードモードを表示します。
・アラームサーチモード時、次のような表示をします。
アラームサーチ時：指定したアラーム番号を表示します。（例 AL12）
アラームスキャン時：アラームスキャンモード表示します。（ALSC）
日･時サーチ時：指定した日･時間を表示します。（例2310）
・メニュースイッチ設定時は設定内容を表示します。
・本機に異常が発生したとき、エラー表示“E-**”を点滅表示します。（本体表示設定メニュー「ワーニング」：“入”設定時）
エラー表示は 52 ページをご参照ください。

❻ TIMER（タイマー）表示
タイマー録画の予約／動作時点灯します。

❼ REPEAT（リピート）表示
動作設定メニュースイッチ「リピート録画」が“入”の時表示します。アラーム／センサー録画設定のメニュースイッチ［強制停止］を“停止”に設定してのリピート録画モード時、アラーム録画やセンサー録画があった場合、REPEAT表示は消灯します。

❽ OVER LAP（オーバーラップ）表示
タイマー録画プログラムの予約が重なっているときに点灯します。

❾ タイマープログラム番号
タイマー録画プログラム設定されている番号が点灯します。
タイマー録画時、実行しているプログラム番号が点滅しタイマー録画を終了すると消灯します。

❿ AL（アラーム）表示
アラーム録画またはセンサー録画時、表示します。
アラーム録画またはセンサー録画を終了すると点滅します。

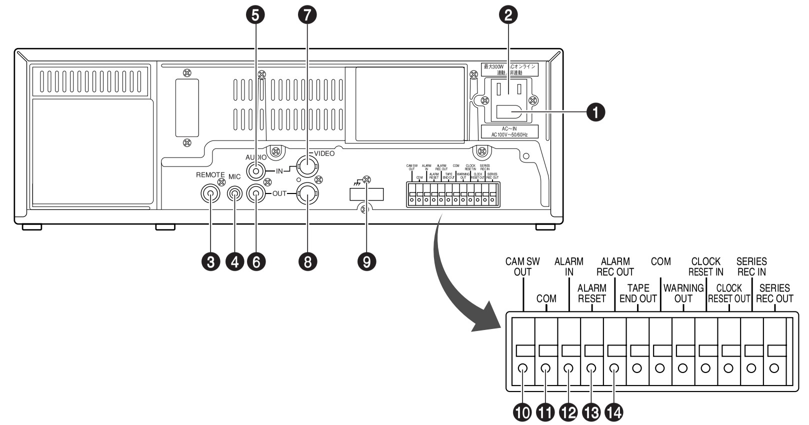
⓫ LOCK（ロック）表示
オペレーションロックが働いているとき点灯します。

⓬ AL REC（アラーム録画）表示
アラーム／センサー録画設定メニュースイッチ「録画モード」が“アラーム”または“ALL”に設定されている時、表示します。

⓭ SENSOR REC（センサー録画）表示
アラーム／センサー録画設定メニュースイッチ「録画モード」が“センサー”または“ALL”に設定されている時、表示します。

第２章　各部の名称とはたらき（つづき）

2-3　リアパネル部



❶ 電源入力端子
付属の電源コードでAC100V50／60Hzのコンセントに接続します。

❷ 電源出力端子
外部機器へ電源を出力します。消費電力が 300W をこえないようにしてください。
※ 本機の電源ボタンやタイマーに連動か非連動かは入出力設定メニュースイッチ「AC アウト」で選択できます。
非連動　：本機の電源ボタンまたはタイマーに関係なく常時、電源出力します。
連動　　：本機の電源ボタンまたはタイマーの入／切に連動して電源出力します。
※ モニターテレビ等には接続しないでください。

❸［REMOTE］リモート端子（RCA）
別売のリモートコントローラー RM-G30 を接続します。

❹［MIC］マイク入力端子
φ3.6プラグのマイクを接続します。マイク端子とオーディオ入力端子の両方から入力があった場合、音声はミックスして記録されます。

❺［AUDIO IN］オーディオ入力端子（RCA）
録音したい機器のオーディオ出力端子と接続します。

❻［AUDIO OUT］オーディオ出力端子（RCA）
入力または再生中のオーディオ信号が出力されます。
タイムラプス録画／再生モード時は、L12H、L18H、L24H モードのみオーディオ信号が出力されます。

❼［VIDEO IN］ビデオ入力端子（BNC）
コンポジットビデオ信号を入力します。

❽［VIDEO OUT］ビデオ出力端子（BNC）
入力または再生中のコンポジットビデオ信号を出力します。
また、本機に電源が投入されていない時でもカメラ等からの入力信号（コンポジットビデオ信号）をスルー出力します。（パワーオフビデオスルー機能）

❾ 信号アース端子
このアース端子は安全用のアースではありません。信号用のアースであり、機器間相互のアースを取るために接続します。

❿［CAM SW OUT］カメラ切換信号出力端子
シーケンシャルスイッチャーと結合するとき、カメラの切換タイミングを本機側からコントロールするための信号出力端子です。
信号は 62 ページをご参照ください。

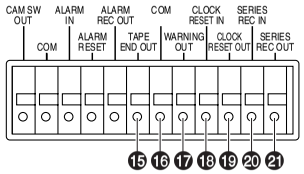
⓫［COM］コモングランド端子
共通の信号グランド端子です。接続機器の信号グランド端子と接続します。

⓬［ALARM IN］アラーム信号入力端子
アラーム録画およびセンサー録画を開始させるための信号入力端子です。

⓭［ALARM RESET］アラーム信号リセット入力端子
アラーム録画中にアラーム録画を取り消すための信号入力端子です。
※アラーム入力データはリセットされません。

⓮［ALARM REC OUT］アラーム録画モード信号出力端子
アラーム録画中、＋12V の信号が出力されます。

2-3　リアパネル部（つづき）



⑮［TAPE END OUT］テープエンド信号出力端子
録画時、テープがテープ終端になった時、信号を出力します。
また、シリーズ／外部録画設定メニュースイッチ「カウンターエンド出力」が設定されている場合、設定されているテープリールカウンター値を越えた時､信号を出力します。
・録画時、＋12Vの信号を出力し、テープが終端になった時または、設定されているカウント値を越えた時0V（GNDレベル）信号を出力します。
・オートリピート録画中またはオートリワインドモードの録画中、テープが終端まで来ると、約2秒間0V信号を出力します。
・外部のアラームランプやブザーと外部インターフェースを介して接続してください。
・出力を取り消したいときは、**カセット取り出しボタン、再生ボタン、早送りボタン、巻戻しボタン**のいずれかを押してください。

⑯［COM］コモングラウンド端子
共通グラウンド端子です。接続する機器の信号グラウンドと接続します。

⑰［WARNING OUT］ワーニング信号出力端子
テープ走行や、メカ動作で異常があったとき（＋12Vの）信号が出力されます。

⑱［CLOCK RESET IN］クロックリセット入力端子
マスター時計または他のSR-9080の［CLOCK RESET OUT］端子と接続します。クロックリセット信号を入力することでマスター時計や他のSR-9080の時刻に合わせることができます。
ただし、時刻の差が±30秒以内であることが必要です。
クロックリセット信号が入力されると、本機の時計は次のようにリセットされます。
・秒の値が29秒以下の場合、分の値はそのままで秒の値が0秒にリセットされます。
・秒の値が30秒以上の場合、秒の値が00秒にリセットされ、分の値が繰り上がります。

⑲［CLOCK RESET OUT］クロックリセット出力端子
クロックリセット信号を出力する端子です。
クロックリセット信号は次の時に出力します。
・本機内部の時計が0:00、12:00の時
他のSR-9080の［CLOCK RESET IN］端子と接続することで他のSR-9080の時計を本機の時刻に合わせることができます。ただし、時刻の差が±30秒以内であることが必要です。

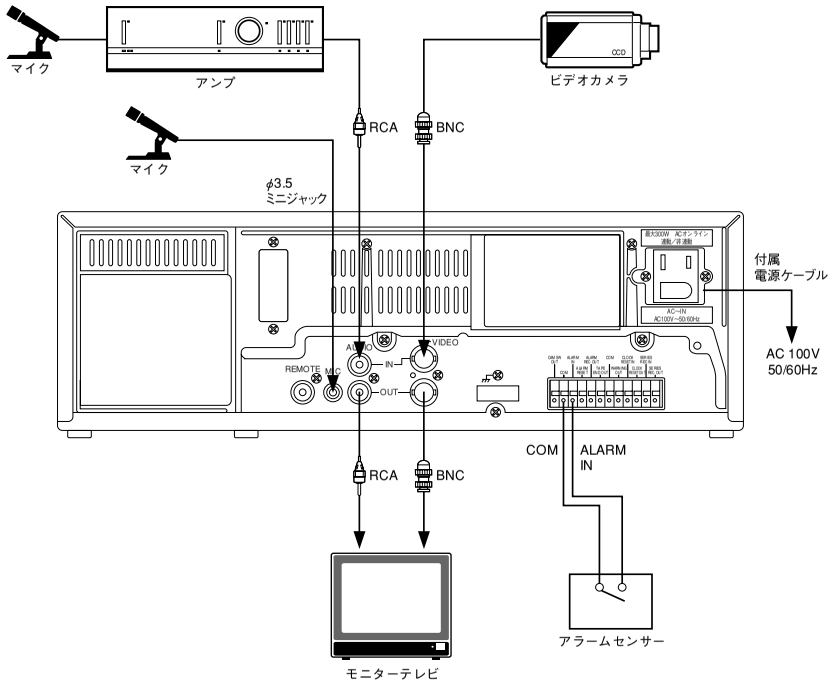
⑳［SERIES REC IN］シリーズ録画／外部録画信号入力端子
シリーズ録画信号または外部制御機器からのVTR起動信号を入力する端子です。
入力信号はシリーズ／外部録画設定メニュースイッチで選択します。

■シリーズ録画入力
シリーズ／外部録画メニュースイッチが“シリーズ”に設定されている時、シリーズ録画信号が入力されます。
・他のVTRのシリーズ録画信号出力端子と接続します。
・先に録画しているVTRのテープが終わりになると、この端子に信号が送られ自動的に録画を始めます。
先に録画しているVTRのシリーズ／外部録画設定メニュースイッチ「カウンターエンド出力」が設定されている場合、設定されているテープリールカウンター値になると、信号が送られ、自動的に録画を始めます。

■VTR起動信号入力
シリーズ／外部録画メニュースイッチが“外部”に設定されている時、外部からのVTR起動信号により、記録の開始と停止を行なえます。
・外部制御機器と接続します。
この端子にVTR起動信号（接地入力）が送られると自動的に記録を始め、VTR起動信号が入力されている間、記録を続けます。

㉑［SEREIS REC OUT］シリーズ録画信号出力端子
シリーズ録画するときの信号出力端子です。
シリーズ／外部録画メニュースイッチが“シリーズ”に設定されている時、シリーズ録画信号を出力します。
・他のVTRのシリーズ録画信号入力端子と接続します。
・本機で録画しているテープが終わりになると、この端子から信号を出力します。
シリーズ／外部録画設定メニュースイッチ「カウンターエンド出力」が設定されている場合、設定されているテープリールカウンター値になると信号を出力します。

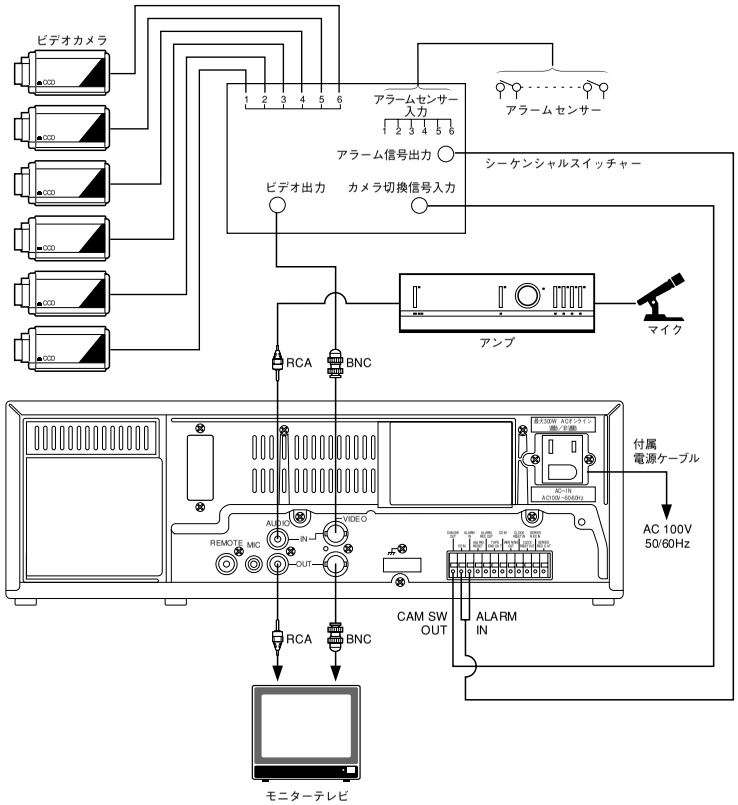
3-1　カメラ１台との接続



1. モニターテレビのビデオ･オーディオ入力端子と本機のビデオ･オーディオ出力端子をそれぞれ接続します。
2. ビデオカメラのビデオ出力端子と本機のビデオ入力端子を接続します。
3. オーディオ入力端子にはマイクアンプ経由で音声を入力してください。
4. アラームセンサーを接続する場合は本機のアラーム入力端子へ接続します。
5. 接続が終了したら電源プラグをAC100V50/60Hzのコンセントへ接続します。

第３章　接続のしかた（つづき）

3-2　シーケンシャルスイッチャーを使ったシステム



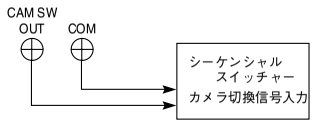
1. シーケンシャルスイッチャー（フレームスイッチャー）にビデオカメラおよびアラームセンサーを接続します。
2. シーケンシャルスイッチャー（フレームスイッチャー）のアラーム信号出力、カメラ切換信号入力、およびビデオ出力を本機に接続します。
3. モニターテレビのビデオ･オーディオ入力端子と本機のビデオ･オーディオ出力端子をそれぞれ接続します。
4. 接続が終了したら電源プラグを AC100V50/60Hz のコンセントへ接続します。
5. 接続したカメラに同期をとってください。

※ シーケンシャルスイッチャーTK-D800を使用される場合、本機のアラーム／センサー録画設定のメニュースイッチ「録画モード」が“センサー”または“ALL”になっていると、TK-D800の電源をONにした直後、センサー録画に入る場合があります。TK-D800との接続でセンサー録画を行なう場合は、TK-D800の電源を立ち上げた後、本機のアラーム／センサー録画設定のメニュースイッチ「録画モード」を“センサー”または“ALL”にしてください。

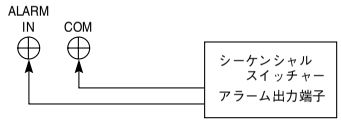
第３章　接続のしかた（つづき）

3-3　背面パネル　ハーモニカ端子の接続

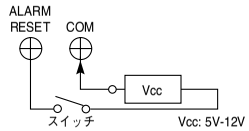
［CAM SW OUT］カメラ切換信号出力端子



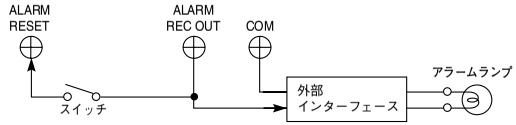
［ALARM IN］アラーム信号入力端子



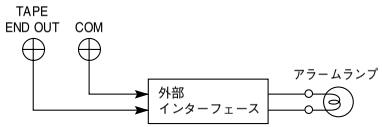
［ALARM RESET］アラームリセット端子



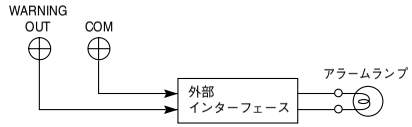
［ALARM REC OUT］アラーム録画モード信号出力端子



［TAPE END OUT］テープエンド出力端子

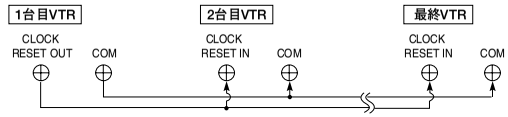


［WARNING OUT］ワーニング信号出力端子

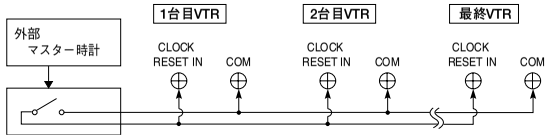


［CLOCK RESET］クロックリセット端子

●1台目VTRの時計に合わせるとき

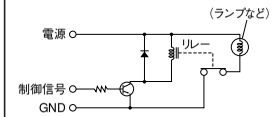


●外部マスター時計に合わせるとき



外部インターフェース作成仕様例

HIGH信号にてランプ点灯例

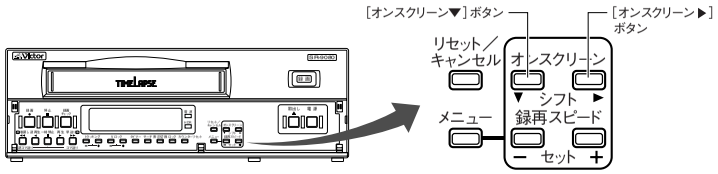


●各素子は、使用実体に合った定格のものをご使用下さい。

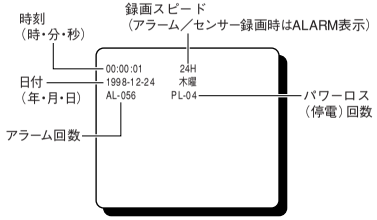
第４章　オンスクリーン／メニュースイッチについて

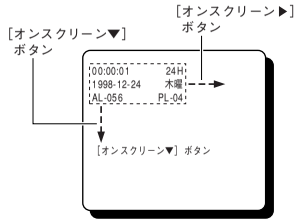
4-1　オンスクリーン表示について

本機はタイムデート（日付･時刻）、録画スピード、アラーム回数およびパワーロス（停電）回数をオンスクリーン表示します。停止モード、録画モードおよび録画一時停止時、オンスクリーン表示します。
録画時は映像信号と共にオンスクリーンデータを記録します。
・オンスクリーン表示位置は［オンスクリーン］ボタンで移動できます。
・オンスクリーン表示の内容や明るさはモニター／本体表示設定メニューの項目で選択できます。

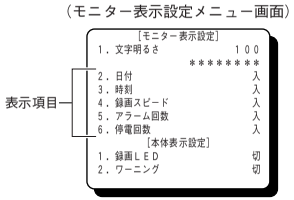


（オンスクリーン表示）





（モニター表示設定メニュー画面）



準　備

■モニターテレビのビデオ入力端子と本機の映像出力端子を接続してください。

1. 本機およびモニターテレビの電源を入れます。

2. ・映像入力端子にカメラ等からの信号が入力されている場合はその映像の上にオンスクリーンデータが表示されます。
・入力信号が無い場合はブラックバック画面にオンスクリーンデータを表示します。

オンスクリーン表示位置を変えるには

■横方向に移動させる。
［オンスクリーン▶］ボタンを押してください。
→右方向に表示位置が移動します。
■下方向に移動させる。
［オンスクリーン▼］ボタンを押してください。
→下方向に表示位置が移動します。

オンスクリーン表示内容を選択する

オンスクリーン表示内容はモニター表示設定メニューの設定で選択できます。（参照 22 ページ）
モニター表示メニューの設定を“入”に設定すると表示します。
■オンスクリーンの表示や記録をしない場合
該当するメニュー項目を“切”にしてください。

オンスクリーン表示の明るさを変えるには

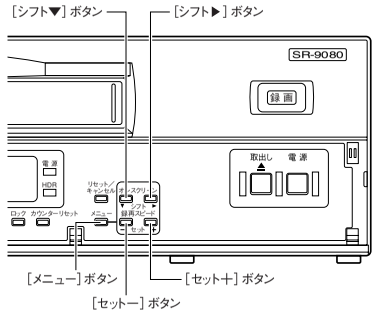
モニター表示設定メニューの「文字明るさ」で設定します。
0 (IRE), 30 (IRE), 70 (IRE), 100 (IRE)の中から選びます。
・数字が大きい程、文字が明るくなります。

※メニュースイッチの設定方法は21ページをご覧ください。

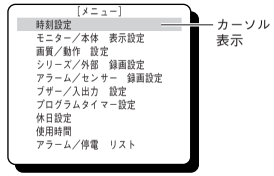
第４章　オンスクリーン／メニュースイッチについて（つづき）

4-2　メインメニュー表示について

本機はアラーム入力や停電が発生した時の日付･時刻データやアワーメーター（ドラム使用時間）をメインメニュー画面での選択により、オンスクリーン表示させることができます。
また、メインメニュー画面での選択により、日付･時刻設定、使用目的に合わせた設定を行なうためメニュースイッチ設定、タイマー録画のプログラム設定等の設定画面をオンスクリーン表示します。日付・時刻設定、メニュースイッチ設定、アワーメーターは本体ディスプレイでも確認できます。



（メインメニュー画面）



操　作

■モニターテレビのビデオ入力端子と本機のビデオ出力端子を接続してください。

1. 本機およびモニターテレビの電源を入れます。

2. ［メニュー］ボタンを押します。
→モニター画面にメインメニュー画面を表示します。

3. 表示させたい項目を選ぶため［シフト］▼を押して、カーソル表示を表示させたい項目に合わせます。

4. ［セット］＋または－ボタンを押すと、選択した項目のメニュー画面がモニターに表示されます。（下部参照）

5. メインメニュー画面に戻したいときは［メニュー］ボタンを押します。
もう一度、［メニュー］ボタンを押すと、メニューモードが解除され、通常画面に戻ります。

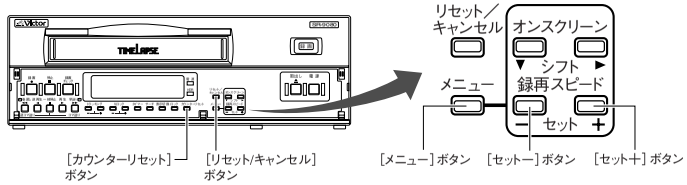
メインメニュー項目の内容

■時刻設定：（本体ディスプレイ表示 cL SEt）
日付･時刻設定画面を表示します。
※ご使用時、始めにこの設定を行なってください。
（参照 18 ページ）
■モニター／本体表示設定：（本体ディスプレイ表示 diSP）
オンスクリーン表示の項目や明るさの選択および本体の［録画］インジケーターやワーニング表示の有無を選択します。
■画質／動作設定：（本体ディスプレイ表示 uiDEo）
通常再生時のV.パルス信号付加の有無やHDR（高密度）録画、カウンターメモリー機能、リピート録画／再生などVTR の動作設定をするためのメニューです。
■シリーズ／外部録画設定：（本体ディスプレイ表示 Sri Et）
シリーズ録画や外部からの信号による自動録画機能に関するメニューです。
■アラーム／センサー録画設定：（本体ディスプレイ表示 AL SEn）
アラーム録画やセンサー録画の動作設定をするためのメニューです。
■ブザー／入出力設定：（本体ディスプレイ表示 bUZZ io）
テープエンドブザー、アラーム／センサーブザーなど、ブザーの入／切選択およびカメラ切換信号出力、AC出力端子の連動／非連動などを設定するメニューです。
■プログラムタイマー設定：（本体ディスプレイ表示 PrG）
タイマー録画のプログラム設定画面を表示します。
曜日による各種プログラム設定が可能です。
■休日設定：（本体ディスプレイ表示 Holi dY）
休日など指定した日付のタイマー録画プログラム設定画面を表示します。
■使用時間：（本体ディスプレイ表示 HoUr）
本機の使用時間（ドラム使用時間）を表示します。
■アラーム／停電リスト：（本体ディスプレイ表示 ALHEr）
アラーム入力や停電があった日付･時刻データを表示します。

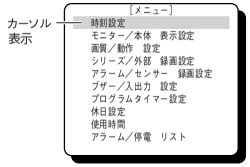
第４章　オンスクリーン／メニュースイッチについて（つづき）

4-3　日付・時刻設定のしかた

タイムデートジェネレーターおよびタイマー録画は日付・時刻が設定されていないと動作しません。
年・月・日と時・分を時刻設定画面で設定します。設定は本体ディスプレイでも確認できます。



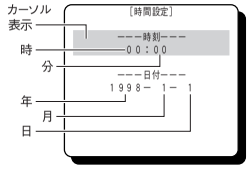
（メインメニュー画面）　（本体ディスプレイ）



cL SEt

［セット＋］ボタン

（日付・時刻設定画面）



-0-00

［シフト▼／▶］
および
［セット］＋／－ボタン

1 1 -1998

［メニュー］ボタン2回

（通常画面）

操　作

1. 本機およびモニターテレビの電源を入れます。

2. ［メニュー］ボタンを押して、モニターにメインメニュー画面を表示させます。

3. ［シフト▼］ボタンを押してメインメニューの［時刻設定］にカーソル表示を合わせます。

4. ［セット］＋または－ボタンを押します。
→モニターに日付・時刻設定画面を表示します。
画面は時刻設定項目をカーソル表示し、“時”項目が点滅します。

5. ［セット］＋または－ボタンを押して“時”を設定します。（時刻は24時間表示）
・［セット＋］ボタンを押すと数値は大きくなり、［セット－］ボタンを押すと小さくなります。（分、年、月、日設定時も同様です。）

6. ［シフト▶］ボタンを押して、“分”の項目を点滅させます。

7. ［セット］＋または－ボタンを押して“分”を設定します。

8. ［シフト▼］ボタンを押します。
→画面は日付設定項目をカーソル表示し、“年（西暦）”項目が点滅します。
■ 年を設定する場合、［セット］＋または－ボタンで設定します。

9. ［シフト▶］ボタンを押して、“月”項目を点滅させ、［セット］＋または－ボタンで“月”を設定します。

10. 同様に、［シフト▶］ボタンを押して“日”項目を点滅させ、［セット］＋または－ボタンで“日”を設定します。

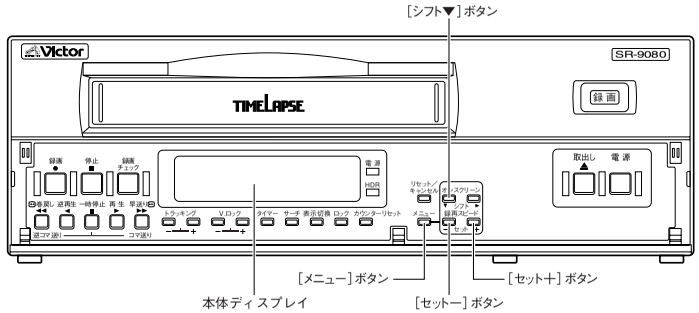
11. 日付・時刻設定を終了する。
・［メニュー］ボタンを押します。
→日付・時刻設定を終了し、モニターはメインメニュー画面に戻ります。
時刻カウントは00秒からスタートします。
・もう一度［メニュー］ボタンを押すと通常画面に戻ります。

±29秒以内の時刻合せについて

秒の値が29秒以内の時、次の操作で秒の値を00秒にリセットできます。
■［リセット／キャンセル］ボタンを押しながら［カウンターリセット］ボタンを押します。
※30秒以上の場合は秒の値が00秒にリセットされ、分の値が繰り上がります。

・長時間、電源コンセントを抜いた場合は使用前に現在時刻を確認してください。（使用環境により、時刻がズレる場合があります。）
・内蔵のバックアップ用バッテリーの容量が少なくなると、ディスプレイ部にエラー表示“E-10”を表示します。
内蔵バッテリーの交換は最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

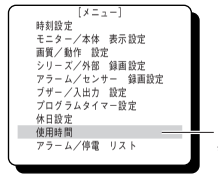
第４章　オンスクリーン／メニュースイッチについて（つづき）



4-4　アワーメーター表示

本機はアワーメーターとしてドラム使用時間をモニターにオンスクリーン表示します。本体ディスプレイにも表示します。
メンテナンスのための目安としてご利用ください。

（メインメニュー画面）　（本体ディスプレイ）



HoUr

［セット］＋または－ボタン

アワーメーター表示画面

000047--dh

操　作

1. 本機とモニターテレビの電源を入れます。

2. ［メニュー］ボタンを押して、モニターにメインメニュー画面を表示させます。

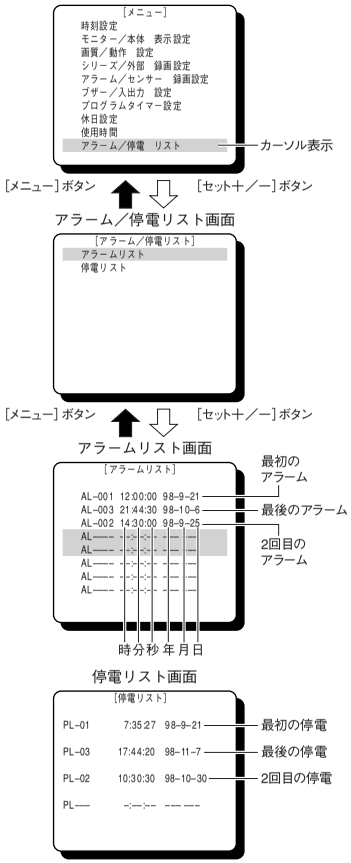
3. ［シフト▼］ボタンを押してメインメニューの［使用時間］にカーソル表示を合わせます。

4. ［セット］＋または－ボタンを押すと、モニターにアワーメーター（ドラム使用時間）を表示します。

5. 通常画面に戻すときは［メニュー］ボタンを２回押します。

4-5　アラーム入力／停電データ表示

アラーム入力や停電があった日付･時刻データを表示します。
アラーム入力データは８回分、停電データは４回分表示します。



操　作

1. 本機とモニターテレビの電源を入れます。

2. ［メニュー］ボタンを押して、モニターにメインメニュー画面を表示させます。

3. ［シフト▼］ボタンを押して、メインメニューの［アラーム／停電リスト］にカーソル表示を合わせます。

4. ［セット］＋または－ボタンを押して、アラーム／停電リスト画面を表示させます。

5. ［シフト▼］ボタンを押して、表示したい項目（アラームリストまたは停電リスト）にカーソル表示を合わせます。

6. ［セット］＋または－ボタンを押すと、アラームリストまたは停電リストを表示します。

・アラームリスト：8回分のデータを表示します。9回以上データがあった場合、2回目以降の古いデータが消え、新しいデータに書き変わります。

・停電リスト　：4回分のデータを表示します。
5回以上のデータがあった場合、2回目以降の古いデータが消え、新しいデータに書き変わります。

7. 通常画面に戻すときは［メニュー］ボタンを３回押します。

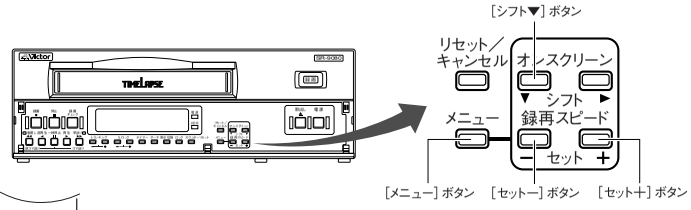
・［メニュー］ボタンを１回押すとアラーム／停電リスト画面に戻り、もう１回押すとメインメニュー画面に戻ります。

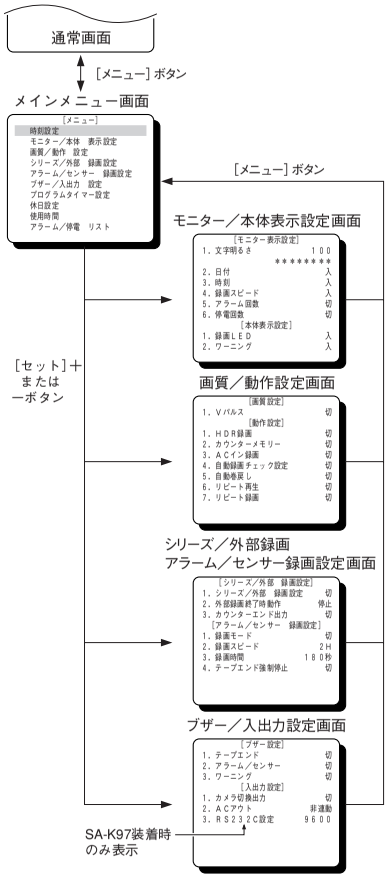
アラーム入力／パワーロス（停電）データのリセット

アラームリスト画面のとき［リセット／キャンセル］ボタンを押すと、メモリーされていたアラーム入力データがリセットされます。
停電リスト画面のとき［リセット／キャンセル］ボタンを押すと、メモリーされていた停電データがリセットされます。

4-6　メニュースイッチ設定のしかた

メインメニュー画面には使用目的に応じて、動作設定するための４種類のメニュースイッチ設定画面があります。
・モニター／本体表示設定　　・シリーズ／外部録画　アラーム／センサー録画設定
・画質／動作設定　　・ブザー／入出力設定
メニュースイッチ設定画面は各々、単独にメインメニュー画面から開くことができます。





操　作

1. 本機とモニターテレビの電源を入れます。

2. ［メニュー］ボタンを押して、モニターにメインメニュー画面を表示させます。

3. ［シフト▼］ボタンを押して、設定または確認したいメニュースイッチ設定画面をメインメニューの中から選択します。

・カーソル表示をご希望のメニュースイッチ設定画面に合わせます。

4. ［セット］＋または－ボタンを押します。

→モニターに選択したメニュースイッチ設定画面を表示します。

・メニュースイッチ設定画面は複数のメニュースイッチ項目で構成されています。

5. メニュースイッチの設定を変える場合

①［シフト▼］ボタンを押して、カーソル表示を設定変更したいメニュースイッチ項目に合わせます。

②［セット］＋または－ボタンを押して、設定値をセットします。

■複数のメニュースイッチの設定を行なう場合、上記①②の操作を繰り返します。

6. 他のメニュースイッチ設定画面を確認または設定する場合

［メニュー］ボタンを押して、メインメニュー画面に戻してから前記 **3.** ～ **5.** の操作を行ってください。

7. メニュースイッチの設定を終わる。

メニュースイッチ設定画面から通常画面に戻したいときは［メニュー］ボタンを２回押してください。

・設定した設定値は本機のメモリーに保存され、電源を切っても、その設定値は保持されます。
・メニュースイッチ項目の詳細は22～25ページをご覧ください。

第４章　オンスクリーン／メニュースイッチについて（つづき）

4-7　メニュースイッチの内容

［　］：工場出荷時設定　　・項目および設定値の下段は本体ディスプレイ上の表示内容です。

設定画面	項目	設定値	内容
モニター表示設定	文字明るさ （本体ディスプレイ表示） oSd 1	0 30 70 ［100］ 0 30 70 100	オンスクリーンの文字や数字の明るさを設定します。 数値が大きい程、文字や数字が明るくなります。 また、設定値の下のラインに明るさを表示します。 0　:＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（黒表示） 30 :＊＊＊ 70 :＊＊＊＊＊＊＊ 100:＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊（白表示）
	日付 oSd 2	［入］ 切 on off	オンスクリーン［年･月･日］表示設定 入：表示します。 切：表示しません。
	時刻 oSd 3	［入］ 切 on off	オンスクリーン［時刻］表示設定 入：表示します。 切：表示しません。
	録画スピード oSd 4	［入］ 切 on off	オンスクリーン［録画スピード］表示設定 入：表示します。 切：表示しません。
	アラーム回数 oSd 5	入 ［切］ on off	オンスクリーン［アラーム回数］表示設定 入：表示します。 切：表示しません。
	停電回数 oSd 6	入 ［切］ on off	オンスクリーン［停電回数］表示設定 入：表示します。 切：表示しません。
本体表示設定	録画 LED FdiP 1	［入］ 切 on off	録画モード時、本体の［録画］インジケーターの点灯／消灯設定 入：点灯します。 切：点灯しません。
	ワーニング FdiP 2	［入］ 切 on off	本機に異常があった場合、本体ディスプレイにワーニング表示（エラーコード表示）するかどうかを設定します。 入：表示します。 切：表示しません。
画質設定	V パルス uid 1	［切］ 入 off on	通常再生（2H、6H モード）時、V. パルスを付加させるかどうかを設定します。 切：V. パルスを付加しません。通常はこの設定にします。 入：V. パルスを付加します。 ・電源同期のカメラ等をスイッチャーで切換えたときなど、切換え点で画が乱れることがあります。そのような場合に“入”に設定します。モニターをロックさせ、画が乱れない様にします。（2H、6H 再生のみ） ・静止画再生、タイムラプス再生時は常に V. パルスを付加出力します。

第４章　オンスクリーン／メニュースイッチについて（つづき）

4-7　メニュースイッチの内容（つづき）

［　］：工場出荷時設定

設定画面	項目	設定値	内容
動作設定	HDR 録画 （本体ディスプレイ表示） utr 1	［切］ 入 off on	タイムラプス記録時のモードを設定します。 切：通常タイムラプスモードで記録します。（SP ヘッドで間欠記録します。） 入：HDR（高密度記録）タイムラプスモードで記録します。 （EP ヘッドで間欠記録します。）参照：27 ページ
	カウンターメモリー utr 2	［切］ 入 off on	カウンターメモリー機能を働かせるかどうかを設定します。 切：カウンターメモリー機能が働きません。 入：カウンターメモリー機能が働きます。 早送り／巻戻しでテープリールカウンター値が0000になった時、自動的に停止モードになります。 ※リピート録画／再生、オートREW、アラームサーチ，アラームスキャン，日時サーチ時はそれぞれの動作が優先され、カウンターメモリー機能は動作しません。
	AC イン録画 utr 3	［切］ 入 off on	市販の外部タイマーで制御する時や停電復帰後の自動録画の入／切設定です。 切：本機に電源が投入されても、外部タイマー録画や停電後復帰自動録画機能が働きません。 入：本機の電源が投入されると、自動的に録画を開始します。
	自動録画チェック設定 utr 4	［切］ 入 off on	リピート録画時､テープ始端位置で自動的に録画チェックを行なうかどうかを設定します。 切：自動録画チェックを行ないません。 入：自動録画チェックを行ないます。
	自動巻戻し utr 5	［切］ 入 off on	テープ終端になったとき、自動的にテープ頭に巻戻すかどうかの設定です。 切：テープの終わりで停止します。 入：テープ頭にテープを巻戻してから停止します。（オート REW） ※リピート録画／再生機能が“入”の場合は、その機能が優先します。 ※アラーム／センサー録画設定画面のメニュースイッチ「テープエンド強制停止」を“停止”に設定した場合、アラーム録画やセンサー録画が1回でもあると、テープが終わったとき停止モードとなり、自動巻戻しを実行しません。
	リピート再生 utr 6	［切］ 入 off on	リピート再生機能の入／切設定です。 切：リピート再生機能は働きません。 入：テープの終わりまで再生すると、オートREW後、再びテープの頭から再生を繰り返します。
	リピート録画 utr 7	［切］ 入 off on	リピート録画機能の入／切設定です。 切：リピート録画機能は働きません。 入：テープ終わりまで録画すると、オートREW後、再びテープ頭から録画を繰り返します。“入”に設定時、本体ディスプレイの[REPEAT] インジケータが点灯します。 ※アラーム／センサー録画設定画面のメニュースイッチ「テープエンド強制停止」を“停止”に設定した場合、アラーム録画やセンサー録画が1回でもあると、テープが終わったとき停止モードとなり、リピート録画しません。 ※このメニュースイッチを“入”に設定した場合､外部録画は働きません。

4-7　メニュースイッチの内容

［　］：工場出荷時設定　　・項目および設定値の下段は本体ディスプレイ上の表示内容です。

設定画面	項目	設定値	内容
シリーズ／外部録画設定	シリーズ／外部録画設定 （本体ディスプレイ表示） Sr Et 1	［切］ シリーズ 外部 oFF SEr ı E ıt	シリーズ録画もしくは、外部からのVTR起動信号による自動録画機能を選択します。 切　：シリーズ録画および外部信号による自動録画機能が働きません。 シリーズ　：シリーズ録画機能が働きます。 外部　　：外部信号による自動録画機能が働きます。 ※メニュースイッチ「リピート録画」を“入”に設定した場合、外部録画は働きません。
	外部録画終了時動作 Sr Et 2	［停止］ パワーオフ norM PoFF	外部からの信号による自動録画機能で録画を終了した時のモードを選択します。 停止　　：停止モードになります。 パワーオフ：停止モードになり、電源が切れます。
	カウンターエンド出力 Sr Et 3	［切］ 500 1000 ⋮ 9000 9500 oFF 500 ⋮ 9500	録画時、設定したテープリールカウンター値で背面パネルの［TAPE END OUT］端子からテープエンド信号を出力します。 シリーズ録画時は、この時、シリーズ録画用信号を出力しますので途切れの少ないシリーズ録画ができます。 切　：カウンターエンド出力機能が働きません。 500　：録画時、設定したテープリールカウンター値になると、テープエンド信号を出力します。プザー設定画面のメニュースイッチ「テープエンド」が“入”の時はブザーが鳴ります。（テープリールカウンター値とテープ残量時間との関係は61ページをご覧ください。） ⋮ 9500
アラーム／センサー録画設定	録画モード AL SE 1	［切］ アラーム センサー ALL oFF ALAr SEnS ALL	アラーム録画もしくはセンサー録画機能を選択します。 ・アラーム録画は録画中、背面パネルの［ALARM IN］端子にアラーム信号が入力されると、タイムラプス録画モードから2H（SP）または6H（EP）録画モードに変わります。 ・センサー録画は停止状態時（停止、タイマー録画待機や電源切状態）、背面パネルの［ALARM IN］端子にアラーム信号が入力されると、2H（SP）または6H（EP）録画モードで記録を始めます。 切　　：アラーム録画、センサー録画共実行しません。 アラーム：アラーム録画を実行します。 センサー：センサー録画を実行します。 ALL　　：アラーム録画とセンサー録画のどちらも実行します。
	録画スピード AL SE 2	［2H］ 6H 2H 6H	アラーム録画およびセンサー録画時の録画モードを選択します。 2H：2H（SP）モードで録画します。 6H：6H（EP）モードで録画します。
	録画時間 AL SE 3	5 秒 10 秒 30 秒 60 秒 120 秒 180 秒 テープエンド マニュアル 5 ⋮ 180 tPEn MAnU	アラーム録画およびセンサー録画時の記録時間を選択します。 5 ～ 180：各設定した時間（5 秒～ 180 秒）アラーム録画またはセンサー録画します。 テープエンド：テープが終わるまでアラーム録画またはセンサー録画します。 マニュアル　：アラーム信号が入力している間、アラーム録画またはセンサー録画します。スイッチャーでアラーム録画時間を設定する場合この設定にします。 ※ アラームサーチやアラームスキャンを確実に動作させるため録画時間は 5 秒以上に設定してください。
	テープエンド強制停止 AL SE 4	［切］ 停止 oFF StoP	録画中、アラーム録画またはセンサー録画が1回でもあった場合、テープが終わった時、強制的に停止モードにするかどうかの設定です。 切　：強制停止モードにはなりません。 ・テープ終了時のモードは動作設定画面のメニュースイッチ「自動巻戻し」または「リピート録画」で設定したモードになります。 停止：強制停止モードになります。リピート録画などでアラーム録画を消したくないとき、この設定にします。

4-7　メニュースイッチの内容（つづき）

［　］：工場出荷時設定

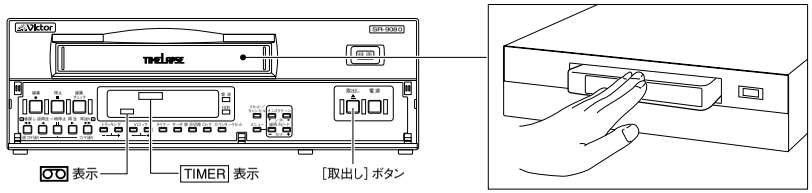
設定画面	項目	設定値	内容
ブザー設定	テープエンド （本体ディスプレイ表示） bu 22 1	［切］ 入 oFF on	録画モードでテープが終わったとき、ブザーを鳴らすかどうかを設定します。 切：ブザーが鳴りません。 入：録画時、テープが終わったとき、ブザーが鳴ります。また、シリーズ／外部録画設定のメニュースイッチ「カウンターエンド出力」で設定したテープリールカウンター値になるとブザーが鳴ります。 ［巻戻し］ボタン、［取出し］ボタン、［電源］ボタンを押してモードを移行させると、ブザーが止まります。
	アラーム／センサー bu 22 2	［切］ 入 oFF on	アラーム録画もしくはセンサー録画中、ブザーを鳴らすかどうかを選択します。 切：ブザーが鳴りません。 入：ブザーが鳴ります。
	ワーニング bu 22 3	［切］ 入 oFF on	ワーニング発生時、ブザーを鳴らすかどうかを設定します。 切：ブザーが鳴りません。 入：ブザーが鳴ります。ワーニングを解除するとブザーは止まります。
入出力設定	カメラ切換出力 io 1	［切］ 1フィールド 2フィールド oFF 1Frd 2Frd	カメラ切換信号の出力間隔を設定します。録画時、外部シーケンシャルスイッチャーに対して出力するカメラの切換えタイミングを設定します。 切　　：カメラ切換信号を出力しません。 1フィールド：1フィールド毎にカメラを切換える場合、この設定にします。 2フィールド：2フィールド（1フレーム）毎にカメラを切換える場合、この設定にします。ビクターのフレームスイッチャーやシーケンシャルスイッチャーと接続する場合、この設定にします。
	AC アウト io 2	［非連動］ 連動 oFF on	電源出力の連動／非連動の設定です。 非連動:本機の［電源］ボタンの入／切に関らず、電源出力端子から電源出力します。 連動　：本機の［電源］ボタンの入／切に連動して、電源出力します。
	RS-232C 設定 io 3	600 1200 2400 4800 ［9600］ 600 ⋮ 9600	このメニュースイッチは（別売）SA-K97 RS-232C インターフェースボード装着時のみ表示します。 RS-232C データ転送速度を選択します。 600bps, 1200bps, 2400bps, 4800bps, 9600bps の中から選択します。

第5章　準備

5-1　カセットの出し入れ

カセットの入れ方

■テープの見える面を上にして中央部を押しながら入れてください。自動的に入り始めたら手を離してください。



注意
※カセット挿入口に異物を入れないでください。故障の原因となります。
※録画の信頼性を確保するため、T120のテープをご使用ください。

オートパワーオン

●カセットを入れると自動的に電源が入り、ディスプレイに（カセット）マークが表示されます。

オートプレイ

●つめの折れているカセットを入れると、自動的に再生を始めます。

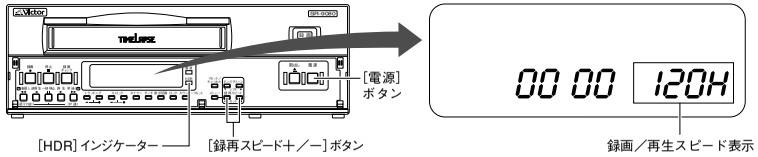
カセットの取り出し方

■［取出し］ボタンを押してください。
→カセットが出てきます。
・テープリールカウンターは“0000”にリセットされます。
●電源が“切”の状態でも［取出し］ボタンを押すと自動的に電源が入り、カセットが出てきます。カセットが出てきた後は自動的に電源が切れます。
※録画中はイジェクトしません。

※ディスプレイにTIMER表示が出ているときはタイマー録画スタンバイ状態です。この状態のときは［取出し］ボタンを押してもカセットが出てきません。
カセットを取出すときは［タイマー］ボタンを押してタイマー録画スタンバイ状態を解除してから、［取出し］ボタンを押してください。

第5章　準備（つづき）

5-2　録画／再生スピードモードの選び方



1. ［電源］ボタンを押し、電源を入れてください。

2. HDR（高密度録画）モードで録画するかどうかを動作設定画面のメニュースイッチ「HDR録画」で選択してください。
HDRモードで録画中、またはHDR録画したテープの再生時、［HDR］インジケータが点灯します。

3. 下の表を参照にして、［録再スピード＋］または［録再スピード－］ボタンで録画または再生スピードを選んでください。
設定した録画または再生スピードモードはディスプレイに表示します。
・HDR録画の入／切設定により、設定できるモードが異なります。

ディスプレイ表示 HDR録画 切	入	モード	T120テープ記録可能時間（時間）	録画／再生間隔（秒）（HDR録画モード“切”時）	音声記録
2H	2H*	標準（SP）	2	－	可
6H*	6H	3倍（EP）	6	－	
L12H	－	12時間SPリニアスロー	12	0.1	
－	L18H	18時間EPリニアスロー	18	－	
L24H	－	24時間SPリニアスロー	24	0.2	
－	24H	24時間タイムラプス	24	－	不可
48H	48H	48時間タイムラプス	48	0.4	
72H	72H	72時間タイムラプス	72	0.6	
120H	120H	120時間タイムラプス	120	1.0	
168H	168H	168時間タイムラプス	168	1.4	
240H	240H	240時間タイムラプス	240	2	
480H	480H	480時間タイムラプス	480	4	
960H	960H	960時間タイムラプス	960	8	

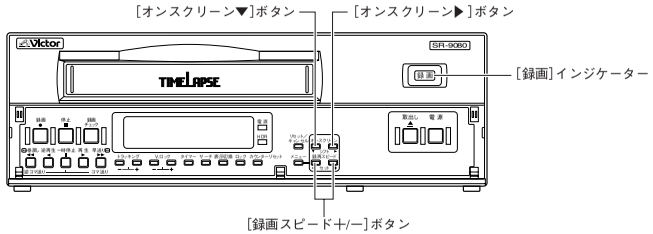
*HDR録画の入／切は2H, 6H以外の録画モードに対して働きます。

※ビデオカセットの種類により、記録可能な時間は異なります。
※L12H、L18H、L24Hリニアスローモードではテープは連続走行し、音声も記録します。映像は間欠記録します。
※L12H、L24HモードはHDR録画を“切”に設定した場合のみ設定できます。
L18H、24HモードはHDR録画を“入”に設定した場合のみ設定できます。

※録画の信頼性を確保するため、T-120のテープをご使用ください。
※カセットテープは2H～168Hモードでは15日に1回以上、240H～960Hモードでは1パスで新しいテープと交換してご使用ください。

HDR（高密度記録）とは
HDR録画の場合、EPヘッドで録画します。HDR録画が“切”の場合SPヘッドで記録します。
HDR録画は通常のタイムラプスモードに対して1コマ（1フィールド）に記録する間隔を約1/3にして、約3倍のコマ数を記録するモードです。テープ1本に記録できる時間は通常（SP）タイムラプスモードと同じです。
HDR録画モードで記録したテープの再生画の画質は通常タイムラプスモードで記録した映像より低下します。（EPモード相当）

6-1　録画時のスイッチ設定



接　続

背面パネルの各入出力端子を正しく接続します。接続については 13 ～ 15 ページ「**接続のしかた**」をご参照ください。

メニュースイッチの設定

必要に応じて、メニュースイッチを設定してください。

■モニター／本体表示設定メニュースイッチ

・日付･時刻、録画スピードモードなどのオンスクリーン表示の明るさや表示の有無を選択します。録画時、選択したオンスクリーンデータが映像信号と一緒に記録されます。オンスクリーンデータの表示や記録を行なわない時は、その項目を“切”に設定してください。

・［録画］インジケーター表示設定
録画時、本体の［録画］インジケーターを点灯させるかどうかを設定します。

■動作設定メニュースイッチ

・HDR 録画
タイムラプス録画時、高密度録画モードで録画する場合、“入”に設定します。

・AC イン録画
市販の外部タイマーでタイマー録画する場合や、停電復帰後自動的に録画を続けたい場合“入”に設定します。
詳しくは44ページ「**停電復帰録画のしかた**」「**外部タイマー録画のしかた**」をご覧ください。

・自動巻戻し
テープエンドになった時の動作を選択します。
“切”設定時、停止モードになります。
“入”設定時、テープ始めまでテープを巻戻します。

> メニュースイッチ「リピート録画」を“入”に設定すると、このメニュースイッチの設定は関係なくリピート録画を行ないます。

・リピート録画
リピート録画を行なう場合、“入”に設定します。詳しくは 42 ページ「**リピート録画のしかた**」をご覧ください。

・自動録画チェック設定
リピート録画時、テープ始めの位置で自動的に録画チェック動作を行なう場合、“入”に設定します。

■シリーズ／外部録画設定メニュースイッチ

・シリーズ／外部録画設定

・シリーズ録画を行なう場合“シリーズ”に設定します。
詳しくは 40 ページ「**シリーズ録画のしかた**」をご覧ください。

・外部からのVTR起動信号により自動録画を行なう場合“外部”に設定します。
詳しくは 43 ページ「**外部のVTR起動信号による録画のしかた**」をご覧ください。

■アラーム／センサー録画設定メニュースイッチ

・録画モード

・アラーム録画を行なう場合“アラーム”または“ALL”に設定します。
詳しくは 37 ページ「**アラーム録画のしかた**」をご覧ください。

・センサー録画を行なう場合、“センサー”または“ALL”に設定します。詳しくは 39 ページ「**センサー録画のしかた**」をご覧ください。

■ブザー設定メニュースイッチ

・テープエンド
録画モード時、テープエンドになったとき、ブザーを鳴らす場合、“入”に設定します。

■入出力設定メニュースイッチ

・カメラの切換出力
録画時､外部シーケンシャルスイッチャーに対して出力するカメラの切換えタイミングを設定します。

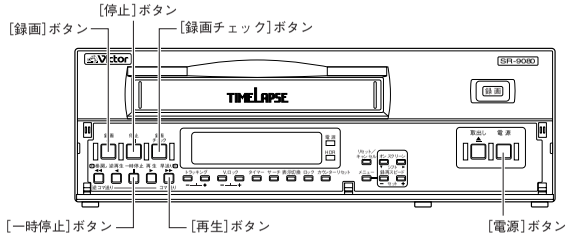
・1フィールドまたは1フレーム毎にカメラを切換える場合、このメニュースイッチを“1フィールド”または“2フィールド”に設定します。

フロントパネルでの設定

■録画スピードモードを［録再スピード＋/－］ボタンで選択します。
詳しくは 27 ページ「**録画／再生モードの選び方**」をご覧ください。

■オンスクリーン表示位置を［オンスクリーン▼/▶］ボタンで選択します。

6-2　録画の基本操作



1. ［電源］ボタンを押し、電源を投入します。
［電源］インジケーターが点灯します。

2. ツメのついたカセットテープを挿入します。
→ディスプレイ上に（カセット)マークが点灯します。

> 電源が切れている状態でも､カセットテープを入れると､自動的に電源が入ります。(オートパワーオン機能)

3. ［録画］ボタンを押すと、録画を始めます。
→ ディスプレイ部に録画マークが表示され録画状態となります。

録画を途中で一時的に中断するには

4. ［一時停止］ボタンを押します。
→ ディスプレイ部に録画一時停止マークが表示され､録画一時停止状態となります。

> ※録画一時停止状態を約 3 分間続けると、テープ保護のため録画一時停止状態のまま、ドラムの回転を止めます。この状態から、録画を始めた時、記録のつなぎ部分の映像が乱れることがあります。

録画を再び開始するには

5. ［再生］ボタンを押します。
→ ディスプレイ部は録画一時停止マークが消え、録画状態となります。

録画を止めるには

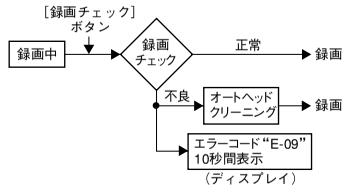
6. ［停止］ボタンを押します。
→テープ走行は停止し、停止状態になります。

録画チェックするには

> ・タイムラプス録画時の録画チェックは2Hまたは6Hモード相当で8秒以上記録をしてから行なってください。記録時間が短いと録画チェックが正しく行なえません。(例:960H通常タイムラプス録画モードの場合､64分以上)
> ・録画チェック時､音声は出力しません。

■録画中、［録画チェック］ボタンを押します。
→テープを約5秒分逆転再生した後、再生モードとなり録画の状態を確認します。再生した後、録画を中断した所から再び、録画モードに戻ります。

・録画チェックの再生モード時、テープに正しく記録されていたかどうかをチェックします。
正しく記録されていなかった場合､内部のヘッドクリーナーがヘッドクリーニング動作を行ない、録画を続けます。
このとき、本体ディスプレイ上にエラーコード“E-09”を約 10 秒間表示します。



> 録画スピードが下記の場合、連続24時間録画する毎に、自動的にヘッドクリーニング動作を行い、録画を続けます。
> 通常タイムラプスモード：72H 以上
> HDR タイムラプスモード：240H 以上
> このクリーナ期間のテープを再生すると､サーボ乱れにより､画面が安定しないことがありますが誤動作ではありません。

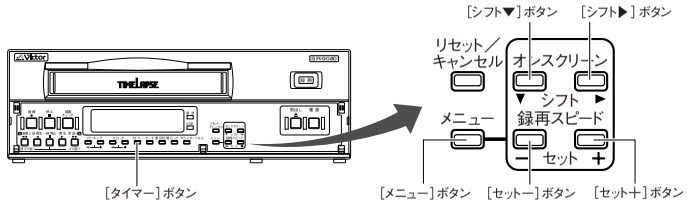
ご注意
本機で記録したテープをSR-9080以外のセットで再生した場合、映像にノイズが出ることがあります。

第6章　録画のしかた（つづき）

6-3　タイマー録画のしかた

本機はタイマー録画の予約を曜日で指定する方法と休日など特定した日付で指定する方法の2種類の設定画面を備えています。各設定画面はメインメニュー画面を開いて選択し、モニターテレビのオンスクリーン画面で予約設定します。

・プログラムタイマー設定　：曜日(日～土)タイマー録画予約と毎日タイマー録画予約の2通りの方法で設定できます。(最大8プログラムまで)
・休日設定　：年間16日まで休日など特定した日付でタイマー録画予約できます。
※プログラムタイマー設定の予約がされていても、休日設定の予約内容が優先します。



注意

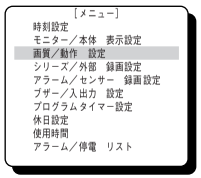
※日付、時刻が設定されていないとタイマープログラム予約や休日タイマー予約の設定は行なえません。日付・時刻設定しない状態でメインメニューのプログラムタイマー設定や休日タイマー設定を選択すると、時刻設定画面が開きますので、始めに、日付・時刻設定を行ってください。
※タイマー録画中はプログラムタイマー設定や休日タイマー設定操作を行わないでください。一度[タイマー]ボタンを押して、タイマー録画を解除してからプログラムタイマー設定や休日タイマー設定を行ってください。

準　備

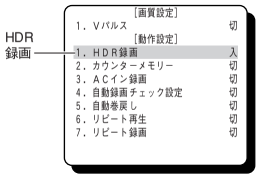
●接続機器を背面パネルの各入出力端子に正しく接続します。
●現在時刻の確認をします。
●ツメのついたカセットテープを正しく入れます。
電源が“切”の状態でもカセットテープを入れると自動的に電源が入ります。(オートパワーオン機能)

タイマープログラム予約設定

メインメニュー画面



メインメニュー画面



■ 指定の曜日でタイマー録画する

(例) 土曜日の午前8時00分から午後5時00分までHDR録画の24時間録画スピードモードで録画する。

1. 本機およびモニターテレビの電源を入れ、停止モードにします。

2. [メニュー] ボタンを押します。
→モニターにメインメニュー画面を表示します。

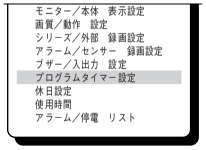
3. HDR録画モードを選択します。
① [シフト▼] ボタンを押して、メインメニューの“画質／動作設定”にカーソル表示を合わせ、[セット] ＋または－ボタンを押します。
→モニターに画質／動作設定画面を表示します。
② [シフト▼] ボタンを押して、メニュースイッチ項目「HDR録画」にカーソル表示を合わせます。
③ [セット] ＋または－ボタンを押して、「HDR録画」項目を“入”に設定します。

4. [メニュー] ボタンを押して、メインメニュー画面に戻します。

第6章　録画のしかた（つづき）

6-3　タイマー録画のしかた（つづき）

メインメニュー画面



プログラムタイマー設定画面

曜日　開始時間　終了時間　録画スピード　切：動作しない　1回：今週の曜日　毎週：毎週

予約番号

本体ディスプレイ

5. [シフト▼] ボタンを押して、メインメニューの中から、“プログラムタイマー設定”を選択し [セット] ＋または－ボタンを押します。
→モニターにプログラムタイマー設定画面を表示し、画面は“日曜”が点滅しています。

6. 曜日を設定する（土曜）
[セット] ＋または－ボタンを押して、“土曜”に設定します。

7. 開始時を設定する（8）
[シフト▶] ボタンを押し、“開始”の時の項目を点滅させ、[セット] ＋または－ボタンを押して、開始時を“8”に設定します。

8. 開始分を設定する（00）
[シフト▶] ボタンを押し、“開始”の分の項目を点滅させ、[セット] ＋または－ボタンを押して開始分を“00”に設定します。

9. 同様にして、終了時（17）、終了分（00）を設定します。

※ 開始時刻より終了時刻が早い場合や同じ時刻の場合、終了時刻は翌日の時刻と判断し、終了時刻の前に“T”を表示します。

10. 録画スピードモードを設定する。(24)
[シフト▶] ボタンを押して、“録画スピード”項目を点滅させ、[セット] ＋または－ボタンで録画スピードを（24）に設定する。
※ HDR録画モードを選択時は“録画スピード”にを表示します。

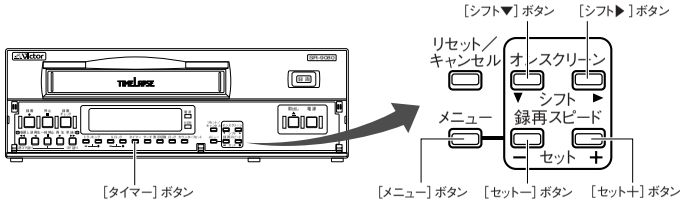
11. 実行項目を設定します
[シフト▶] ボタンを押して、“実行”項目を点滅させ、[セット] ＋または－ボタンで実行項目を選択します。
1回 ：最近の指定曜日（土曜日）1回だけタイマー録画します。
毎週 ：毎週指定曜日（土曜日）にタイマー録画します。
切 ：設定したタイマープログラムを実行しません。

■ 他の曜日もタイマー録画予約設定する場合、[シフト▼] ボタンを押して、次の設定行を点滅させ、上記 **6.** ～ **11.** の操作を行なってください。
※ただし、HDR録画モードの選択を変える場合は、始めにメニュースイッチ「HDR録画」の設定を行なってください。

12. タイマープログラム設定を終了する
・[メニュー] ボタンを2回押してください。
→モニターは通常画面に戻ります。

13. 次に、[タイマー] ボタンを押してください。
→本体ディスプレイにTIMER表示と有効なタイマー予約番号が点灯し、自動的に電源が切れ、タイマー録画待機状態になります。

6-3　タイマー録画のしかた（つづき）



■ 24時間を越えたタイマー録画予約をする

（例）毎週金曜日の午後９時から月曜日の午前８時までHDR録画の48時間録画スピードで録画する場合

プログラムタイマー設定画面

曜日　開始時間　終了時間　録画スピード　切：動作しない　１回：今週の曜日　毎週：毎週

1. 30ページ「タイマープログラム予約設定」の *1.*～*5.* の操作を行なってください。

2. ［シフト▼］ボタンを押して、プログラムタイマー設定画面の**7行目**の曜日（土曜）を点滅させます。（24時間を越えた予約設定は７行目でしか行なえません。

3. ［セット］＋または－ボタンを押して、曜日を“金曜”に設定し、［シフト▶］ボタンを押します。
→“開始”の時の項目が点滅します。

4. ［セット］＋または－ボタンを押して、開始の時を“21”に設定し、［シフト▶］ボタンを押します。
→“開始”の分の項目が点滅します。

5. ［セット］＋または－ボタンを押して、開始の分を“00”に設定し、［シフト▶］ボタンを押します。
→“終了”の時の項目が点滅します。

6. ［セット］＋または－ボタンを押して、終了の時を“＊＊”に設定します。
→“終了”以降が“＊＊:＊＊ ＊＊＊＊ ＊＊”表示になり、自動的に８行目の曜日の項目が次の日の曜日（土曜）に変わり、“開始”の項が“＊＊:＊＊”となります。

7. ［シフト▼］ボタンを押して、８行目の曜日を点滅させます。

8. ［セット］＋または－ボタンを押して、曜日を“月曜”に設定し、［シフト▶］ボタンを３回、押します。
→“終了”の時の項目が点滅します。

9. ［セット］＋または－ボタンを押して、“終了”の時を“8”に設定します。

10. 同様にして、［シフト▶］ボタンと［セット＋/－］ボタンで“終了”の分を“00”、“録画スピード”を“48”、“実行”の項を“毎週”に設定します。

11. タイマープログラム設定を終了する
［メニュー］ボタンを２回押します。
→モニターは通常画面に戻ります。

12. 次に［タイマー］ボタンを押します。
→本体ディスプレイにTIMER表示と予約番号“7”が点灯し自動的に電源が切れ、タイマー録画待機状態になります。

6-3　タイマー録画のしかた（つづき）

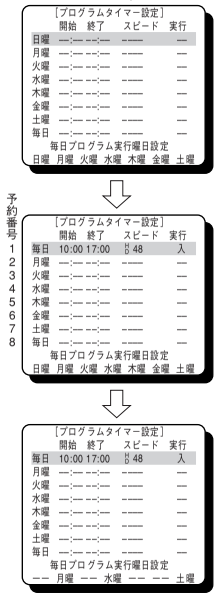
■ 毎日タイマー録画予約をする。

指定した曜日の同時刻で毎日、タイマー録画するための予約設定です。
録画スピードモードも、毎日、同じモードになります。

（例）月曜、水曜、土曜の午前10時00分から午後５時00分まで、HDR録画の48時間録画モードで録画する

プログラムタイマー設定画面

曜日　開始時間　終了時間　録画スピード　入：実行　切：動作しない



1. 30ページ「タイマープログラム予約設定」の *1.*～*5.* の操作を行なってください。

2. プログラムタイマー予約設定画面の“曜日”の項を設定します。（毎日）
［セット］＋または－ボタンを押して、曜日を“毎日”に設定します。

3. ［シフト▶］ボタンを押して、開始の時の項を点滅させ、［セット］＋または－ボタンを押して、開始の時を“10”に設定します。

4. ［シフト▶］ボタンを押して、開始の分の項を点滅させ、［セット］＋または－ボタンを押して、開始の分を“00”に設定します。

5. 同様に、［シフト▶］ボタンと［セット＋/－］ボタンで終了時を“17”、終了分を“00”、録画スピードを“48”、実行の項を“入”に設定します。

6. 次に動作させる曜日を設定します。（月、水、土）
画面下部の「毎日プログラム実行曜日設定」で設定します。
・［シフト▼］ボタンを押して、最下行の“日曜”を点滅させます。

7. ［セット］＋または－ボタンを押して、日曜の項を“——”にします。

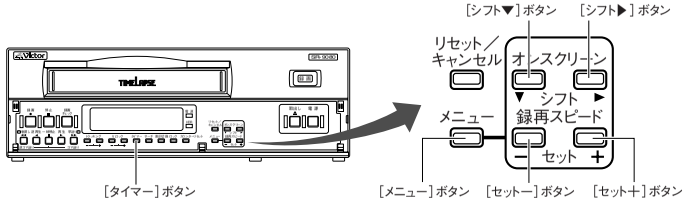
8. ［シフト▶］ボタンを押して、曜日を選択し、［セット］＋または－ボタンで動作曜日を設定します。
「火曜」「木曜」「金曜」の項を“——”にします。
・表示している曜日は動作します。“——”の曜日は動作しません。

9. タイマープログラム設定を終了する。
［メニュー］ボタンを２回押します。
→モニターは通常画面に戻ります。

10. 次に、［タイマー］ボタンを押します。
→本体ディスプレイにTIMER表示と有効なタイマー予約番号が点灯し、自動的に電源が切れ、タイマー録画待機状態になります。

第６章　録画のしかた（つづき）

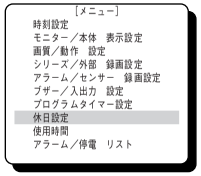
6-3　タイマー録画のしかた（つづき）



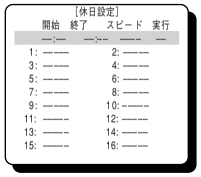
休日タイマー録画設定

休日や祭日など特定した日付でタイマー録画するときの設定です。年間16日まで設定できます。
休日タイマー録画設定とプログラムタイマー録画設定が重複した場合、休日タイマー録画設定が優先します。

メインメニュー画面



休日設定画面



・実行の項目を“切”に設定すると設定は無効となり、休日タイマー録画は実行しません。

（例）午前0時00分から翌日の午前0時00分まで960時間通常タイムラプスモードで録画する。

1. ［メニュー］ボタンを押して、モニターにメインメニュー画面を表示させます。

2. HDR録画を“切”にする。
① ［シフト▼］ボタンでメインメニューの中の「画質／動作設定」項目を選び［セット］＋または－ボタンを押します。
② ［セット］＋または－ボタンで画質／動作設定画面の中のメニュースイッチ「HDR録画」を“切”に設定します。
③ ［メニュー］ボタンを押して、メインメニュー画面に戻します。

3. 休日設定画面を表示させる
・［シフト▼］ボタンを押してメインメニューの中の「休日設定」を選択し、［セット］＋または－ボタンを押します。

4. ［セット］＋または－ボタンを押して、開始の時を“0”に設定し、［シフト▶］ボタンを押します。
→開始の分の項目が点滅します。

5. ［セット］＋または－ボタンを押して、開始の分を“00”に設定し、［シフト▶］ボタンを押します。
→終了の時の項目が点滅します。

6. ［セット］＋または－ボタンを押して終了の時を“00”に設定し、［シフト▶］ボタンを押します。
終了時刻の前に“T”を表示します。
※開始時刻より終了時刻が早い場合や同時刻の場合、終了時刻は翌日の時刻と判断し、終了時刻の前に“T”を表示します。

7. 同様にして［シフト▶］ボタンおよび［セット＋/－］ボタンで終了分を“00”、録画スピードを“960”、実行の項を“入”に設定します。

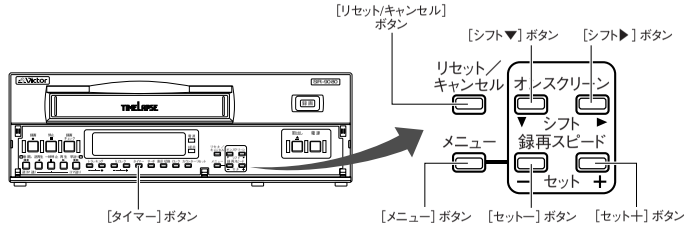
8. 日付を設定します。
・［シフト▶］ボタンまたは［シフト▼］ボタンで順次、行を選択し、［セット］＋または－ボタンで実行月日を入力してください。

9. 休日タイマー録画設定を終了する
［メニュー］ボタンを２回押します。
→モニターは通常画面に戻ります。

10. 次に［タイマー］ボタンを押します。
→本体ディスプレイにTIMER表示が点灯し、自動的に電源が切れタイマー録画待機状態になります。
※タイマー予約番号はディスプレイに表示しません。

第６章　録画のしかた（つづき）

6-3　タイマー録画のしかた（つづき）



タイマー録画予約の取消し

タイマー録画予約設定中、途中で止める場合

1. ［リセット／キャンセル］ボタンを押します。
→設定中のプログラムがリセットされます。

2. ［メニュー］ボタンを２回押します。
→モニターは通常画面モードに戻ります。

タイマー録画予約を完了したプログラムを取消すには

1. ［録画タイマー］ボタンを押し、ディスプレイのTIMER表示を消灯します。

2. 本機およびモニターテレビの電源を投入します。

3. ［メニュー］ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させ、［シフト▼］ボタンを押して、“プログラムタイマー設定”または“休日設定”を選択し、［セット］＋または－ボタンを押します。
→モニターにプログラムタイマー設定または休日設定画面を表示します。

4. ［シフト］▼または▶ボタンで取り消したいプログラムの行にカーソル表示を合わせます。

5. ［リセット／キャンセル］ボタンを押します。
→指定したタイマー録画予約が取り消されます。

6. ［メニュー］ボタンを２回押します。
→モニターは通常画面に戻ります。

タイマー録画予約内容を変更するには

1. ［タイマー］ボタンを押し、ディスプレイのTIMER表示を消灯させます。

2. 本機とモニターテレビの電源を投入します。

3. ［メニュー］ボタンを押して、メインメニュー画面を表示させ、［シフト▼］ボタンで“プログラムタイマー設定”または“休日設定”を選択し、［セット］＋または－ボタンを押します。
→モニターにプログラムタイマー設定または休日設定画面を表示します。

4. ［シフト］▼または▶ボタンで変更したい箇所を点滅させます。

5. ［セット］＋または－ボタンで値を変更します。

6. ［メニュー］ボタンを２回押します。
→モニターは通常画面に戻ります。

タイマー録画待機中に使用したいとき

・［タイマー］ボタンを押してTIMER表示を消すと普通に使えます。
再び、［タイマー］ボタンを押すと、TIMER表示が点灯し、タイマー録画待機状態に戻ります。
・全てのタイマー録画が完了するとTIMER表示が消灯します。

6-3　タイマー録画のしかた（つづき）

タイマー録画時のご注意

■予約にミスがあったり、予約がされていないと･･･
［タイマー］ボタンを押したとき、TIMER 表示が約 10 秒間点滅します。ブザー設定メニュースイッチ［ワーニング］が“入”設定時は警告ブザーが鳴ります。

▼

予約設定を行なってください。

■予約が重なっていると･･･
［タイマー］ボタンを押すと、タイマー録画待機状態となり、本体ディスプレイにOVER LAP表示が約 10 秒間点滅した後、点灯します。
（ただし、プログラムタイマー設定と休日タイマー設定が重なっているときはOVER LAP表示しません。この場合、休日タイマー設定が優先されます。また、プログラムタイマー設定の中でも毎日タイマー録画予約設定をした場合、他のプログラムと重なっていると、OVER LAP表示しません。この場合、予約時間の早いプログラムを実行します。）

▼

予約内容を確認してください。

プログラムタイマー設定では、予約時刻の早い方を優先して録画します。

■複数のプログラムタイマー予約した場合･･･

▼

・時間的優先順位の早いプログラムタイマー予約から実行され、実行中の本体ディスプレイのプログラムタイマー番号表示が点滅します。
※ 休日タイマー録画予約には、ディスプレイの番号表示がありません。

■開始時刻を過ぎて、タイマー録画に入れた場合･･･
設定された時間内に停電し、停電が復帰した場合･･･

▼

・設定された時間内であればタイマー録画を開始します。
・休日タイマー設定とプログラムタイマー設定が重なった場合は休日タイマー設定を優先して録画します。
・プログラムタイマー設定の予約が重なっている場合はタイマー予約番号の小さい方を優先して録画します。

■タイマー録画中にタイマー録画内容を変更した場合･･･

▼

・タイマー録画中にプログラムタイマー設定画面や休日タイマー設定画面を表示させ、現在実行しているプログラムの内容を変更しても動作は変更前の状態を継続します。一度、タイマー録画を終了させてから、設定を変更してください。

■タイマー録画中は･･･
録画一時停止／停止の操作はできません。

▼

タイマーボタンを押してから操作してください。

■タイマー録画では･･･
録画開始の約20秒前に電源が入り、録画一時停止をした後約2秒前から録画が開始します。

■カセットが入っていないと･･･
TIMERおよび表示が点滅します。
ブザー設定メニュースイッチ「ワーニング」が“入”設定時は警告ブザーが鳴ります。

▼

ツメのついたカセットテープを入れてください。
ツメの無いカセットテープはイジェクトされます。

■タイマー録画中、テープエンドになると･･･

▼

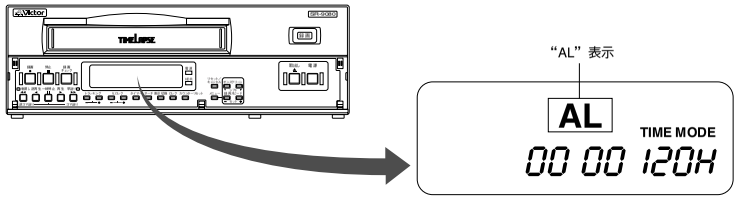
カセットテープをイジェクトします。
ツメのついたカセットテープを入れると、タイマー録画を再開します。

※ ただし、リピート録画モードでタイマー録画を実行している場合は、テープエンドになってもカセットテープをイジェクトしません。リピート録画を続けます。

6-4　アラーム録画のしかた

アラーム録画は録画中に動作します。録画中に異変が発生すると（背面パネルの ALARM IN 端子にアラーム信号が入力されると）テープにインデックスコードを記録し、自動的に予め設定したアラーム録画モード（2H、もしくは6H モード）で異常状態を克明に録画します。そして、予め設定したアラーム録画時間を経過した後は再び元のタイムラプス録画で録画を始めます。

※録画一時停止中にはアラーム録画に入りません。
※アラーム録画機能を 100 回／１日を超えるような頻度で使用すると、本機の機構が保証できる範囲を越えるため故障する恐れがあります。100 回／１日を超えて使用したい場合は、録再スピードを 2H，6H，L12H，L18H，L24H のいずれかに設定し、かつ定期的な保守点検、部品交換を行ってください。



・アラーム録画モード、アラーム録画時間、アラーム録画中のブザー入／切、およびテープエンドになった時の強制ストップモードの入／切はメニュースイッチで設定します。

・また、アラーム録画時、ディスプレイに“AL”の表示が点灯します。
オンスクリーン表示の時は、モニター画面の録画スピードの項に“ALARM”の表示が出ます。
アラーム録画が終わっても、ディスプレイの“AL”の表示は点滅してアラーム入力があったことを知らせます。

オンスクリーン“ALARM”表示	消灯	表示	消灯	表示	消灯
ディスプレイ“AL”表示	消灯	点灯	点滅	点灯	点滅
録画モード	タイムラプスモード	2Hまたは6H	タイムラプスモード	2Hまたは6H	タイムラプスモード
	タイムラプス録画	アラーム録画	タイムラプス録画	アラーム録画	タイムラプス録画
		アラーム信号入力		アラーム信号入力	

※・アラーム録画の開始点に、アラームキュー信号としてテープにインデックスコード（VISS）が記録されます。
・アラーム録画中、背面 ALARM REC OUT 端子から＋ 12V の信号が出力されます。
・アラーム録画中に新たなアラーム入力があったときはその時点からアラーム録画を再開します。

6-4　アラーム録画のしかた（つづき）

準　備

背面パネルのアラーム入力端子にアラームセンサーを接続してください。

1. ［電源］ボタンを押し、電源を投入します。

2. アラーム録画に関するメニュースイッチを設定します。
メインメニューの「アラーム／センサー録画設定」を開いて、設定します。

① 録画モード
アラーム録画を働かすため、“アラーム”または“ALL”に設定します。
・“ALL”に設定した場合、アラーム録画およびセンサー録画が動作します。
・本体ディスプレイの“AL REC”表示が点灯します。

② 録画スピード
アラーム録画時の録画スピードモードを選択します。
2H モードか 6H モードを選択します。

③ 録画時間
アラーム録画時間を設定します。
5 秒、10 秒、15 秒、30 秒、60 秒、120 秒、180 秒、テープエンド（テープ終りまで）、マニュアル（アラーム信号入力中）の中から選択します。

※ アラーム録画時間を“マニュアル”に設定した場合アラーム録画時間が 5 秒以下の時はアラームインデックスが正しく記録されません。
※ アラーム録画時間の設定できるスイッチャーを使用してスイッチャーでアラーム録画時間を設定する場合は本機のアラーム録画時間の設定は“マニュアル”にしてください。

④ テープエンド強制停止
録画中、アラーム録画が1回でもあった場合、テープが終わった時、強制的に停止モードにするかどうか設定します。
・“停止”に設定すると、リピート録画、自動巻戻しの設定になっていても、テープエンドになると停止モードになります。
・“切”に設定すると、リピート録画や自動巻戻しの設定に基づいて動作します。

3. その他のメニュースイッチを設定します。

■アラームブザーの選択
アラーム録画中、アラームブザーを鳴らしたい場合、ブザー設定のメニュースイッチ「アラーム／センサー」を“入”に設定します。

■オンスクリーン表示の明るさと内容項目の選択
モニター表示設定のメニュースイッチで選択します。
録画時、映像信号と一緒にオンスクリーン情報が記録されます。
フロントパネルの［オンスクリーン▼/▶］ボタンでオンスクリーン表示位置を変えることができます。

アラーム／センサー録画設定

■HDR 録画の選択
タイムラプス録画時、HDR 録画モードで録画する場合動作設定のメニュースイッチ「HDR 録画」を“入”に設定します。

4. フロントパネルの［録再スピード＋/－］ボタンでタイムラプス録画モードを選択してください。
→選択した録画スピードモードは本体ディスプレイおよびモニターにオンスクリーン表示します。

5. 29 ページ「録画の基本操作」と同様の操作をしてください。

6. 背面パネルの ALARM IN 端子にアラーム信号が入力されると、設定した状態でアラーム録画を行ないます。

7. アラーム録画およびアラーム表示を止める場合は［リセット／キャンセル］ボタンを押してください。
・ディスプレイの“AL”表示が点灯時（アラーム録画中）に［リセット／キャンセル］ボタンを押すと、アラーム録画を止め、タイムラプス録画に戻ります。その時、“AL”表示が消灯します。アラームブザーが鳴っている場合、ブザーも止まります。
・ディスプレイの“AL”表示が点滅時に［リセット／キャンセル］ボタンを押すと、“AL”表示が消灯します。

8. アラーム入力データはメインメニューの［アラーム／停電リスト］画面で確認できます。（参照20ページ）アラームリスト画面を表示させて、［リセット／キャンセル］ボタンを押すとアラーム入力データはリセットされます。

※ アラーム録画開始時や終了時に画面が乱れることがありますが故障ではありません。

6-5　センサー録画のしかた

センサー録画は VTR が停止状態（停止、タイマー録画スタンバイや電源“切”状態）時、異変が発生したとき（背面パネルにアラーム信号が入力されたとき）だけ録画します。センサー録画に関する設定は 38 ページ「アラーム録画」と同様にメニュースイッチで行ないます。

※ センサー録画機能を 100 回／1 日を越えるような頻度で使用すると、本機の機構が保証できる範囲を超えるため故障する恐れがあります。

準　備

背面パネルのアラーム出力端子にアラームセンサーを接続してください。

1. ［電源］ボタンを押し、電源を投入します。

2. センサー録画に関するメニュースイッチを設定します。
メインメニューの「アラーム／センサー録画設定」を開いて設定します。

① 録画モード
センサー録画を働かすため“センサー”または“ALL”に設定します。
・“ALL”に設定した場合、アラーム録画およびセンサー録画が動作します。
・本体ディスプレイの“SENSOR REC”表示が点灯します。

② 録画スピード
センサー録画時の録画スピードモードを選択します。
標準（2H）モードか 3 倍（6H）モードを選択します。

③ 録画時間
センサー録画時間を設定します。
5 秒、10 秒、15 秒、30 秒、60 秒、120 秒、180 秒、テープエンド（テープ終りまで）、マニュアル（アラーム信号入力中）の中から選択します。

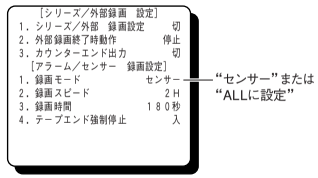
※ センサー録画時間は設定値より少し短くなります。
※ センサー録画時間を“マニュアル”に設定した場合センサー録画時間が 5 秒以下の時はアラームインデックスが正しく記録されません。
※ センサー録画時間の設定できるスイッチャーを使用してスイッチャーでアラーム録画を設定する場合は本機のアラーム録画時間の設定は“マニュアル”にしてください。

④ テープエンド強制停止
センサー録画中、テープが終った時、強制的に停止モードにするかどうかを設定します。
・“強制停止”に設定すると、リピート録画、自動巻戻しの設定になっていても、テープエンドになると停止モードになります。
・“切”に設定すると、リピート録画や自動巻戻しの設定に基づいて動作します。

3. その他のメニュースイッチを設定します。

■アラームブザーの選択
センサー録画中、アラームブザーを鳴らしたい場合、ブザー設定のメニュースイッチ「アラーム／センサー」を“入”に設定します。

アラーム／センサー録画設定



■オンスクリーン表示の明るさと内容項目の選択
モニター表示設定のメニュースイッチで選択します。
録画時、映像信号と一緒にオンスクリーン情報が記録されます。
フロントパネルの［オンスクリーン▼/▶］ボタンでオンスクリーン表示位置を変えることができます。

4. 本機の電源を“入”にして、停止状態にします。

5. ・背面パネルにアラーム信号が入力されると、自動的に設定した録画モード（2Hまたは6Hモード）で記録を始め、ディスプレイに“AL”表示を点灯します。
オンスクリーンの動作モードは“ALARM”表示します。
・設定した録画時間終了後、停止状態になります。

※ センサー録画は停止状態から録画を始めるため、録画開始に数秒かかります。

6. センサー録画および AL（アラーム）表示を止めるときは［リセット／キャンセル］ボタンを押してください。
この時、メニュースイッチ「テープエンド強制停止」が“入”でもテープ終了時の動作は動作設定メニュースイッチ「自動巻戻し」または「リピート録画」の設定に従います。

7. センサー録画モードをやめる場合はアラーム／センサー録画設定のメニュースイッチ「録画モード」を“切”または“アラーム”に設定してください。

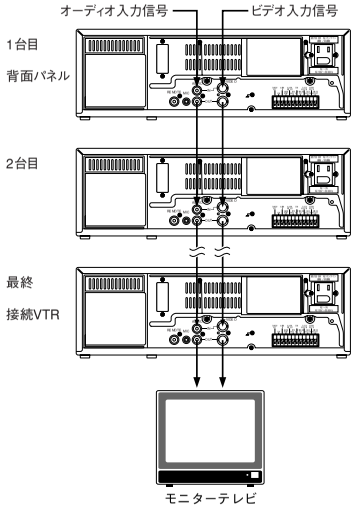
※ 再生時、センサー録画と次のセンサー録画のつなぎ目で画面が乱れたり、ノイズが出たりすることがありますが故障ではありません。
※ センサー録画中に新たなアラーム入力があったときはその時点からセンサー録画を再開します。

6-6　シリーズ録画のしかた

本機を複数台接続することにより、長時間の録画が行なえるシリーズ録画機能を備えています。1台目の録画が終了すると2台目が録画を開始し、接続した台数分の連続録画を行えます。カウンターエンド出力機能を併用すると、途切れの少ないシリーズ録画ができます。

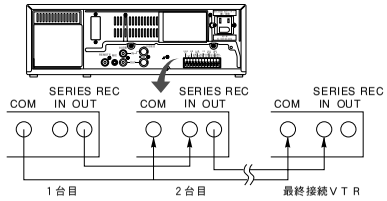
接　続

・1台目の［SERIES REC OUT］端子と2台目の［SERIES REC IN］端子、2台目［SERIES REC OUT］端子と3台目［SERIES REC IN］端子･･･を接続します。各VTRの［COM］端子間を接続します。
・1台目のVTRのビデオおよびオーディオ入力端子とカメラ等映像機器およびオーディオ機器出力端子と接続します。
1台目のビデオ･オーディオ出力端子と2台目のビデオ･オーディオ入力端子、2台目のビデオ･オーディオ出力端子と3台目のビデオ･オーディオ入力端子･･･を接続します。
最終VTRのビデオ･オーディオ出力端子をモニターテレビのビデオ･オーディオ入力端子に接続します。



・録画中、モニターテレビで入力映像信号を確認できます。
・2台目以降のVTRの電源を“入”にしておくと、2H、6H、L12H、L18H、L24H録画モード時、モニターテレビで入力音声を確認できます。L12H, L18H, L24Hを除くタイムラプス録画モード時は音声の確認はできません。

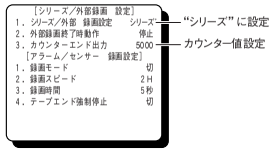
ご注意
・カセットテープが装着されていないVTRがあると、シリーズ録画はそこで止まります。
・映像信号を上図の様にシリーズ接続した場合、2台目以降のVTRは前のVTRのオンスクリーン情報も録画します。この事を避けたい場合は、分配器を用いて、各VTRに映像信号を分配してください。



本機の電源出力端子で2台目、3台目の電源をとるときは電源出力を非連動にして使用してください。
電源出力を非連動にする場合は、入出力設定のメニュースイッチ［ACアウト］を“非連動”に設定してください。
消費電力が300Wをこえないようにしてください。

操　作

1. シリーズ録画を働かすため、シリーズ／外部録画設定のメニュースイッチ「シリーズ／外部録画設定」を“シリーズ”に設定します。
（接続した全てのVTRに対して設定します。）



■通常はテープエンドになると、次のVTRは録画を始めますが、メニュースイッチのカウンターエンド出力機能を使用すると、設定したテープリールカウンター値を越えるとシリーズ録画出力信号を出し、次のVTRは録画を始めます。
メニュースイッチ「カウンターエンド出力」を500、1000、･･･9500の中から選びます。
・T120カセットテープの場合、テープ頭からテープ終了までのテープリールカウンター値の目安は約5800です。（参照61ページ）

2. 設定終了後、［メニュー］ボタンを押して、通常画面に戻します。

3. 接続した全てのVTRにツメのあるカセットテープを装着してください。
■カウンターエンド出力機能を使用する場合、［表示切換］ボタンでカウンターをテープリールカウンター表示にしてください。
カセットを装着すると、カウンターは“0000”にリセットします。

4. 1台目のVTRの録画を始めてください。

6-6　シリーズ録画のしかた（つづき）

5. 1台目のVTRが録画を終了すると、自動的に2台目のVTRが録画を始め、接続した台数分、同じ動作を繰り返します。
・テープエンド出力を設定した場合、設定したテープリールカウンター値で［SERIES REC OUT］端子からシリーズ録画信号を出力し、次のVTRの録画を開始させます。
1台目のVTRはテープ終りまで録画を行います。

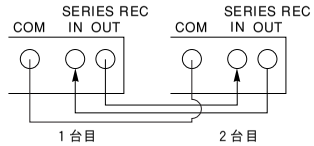
・動作設定のメニュースイッチ「自動巻戻し」が“切”の場合、テープ終りまで録画すると停止状態になります。「自動巻戻し」が“入”の場合はテープをテープ頭に巻戻して、停止状態になります。（オートリワインド）
・カウンター値について
カウンターエンド出力機能を使ってのオートリワインドまたリピート録画時、テープがテープ頭に巻き戻されると、テープリールカウンターは“0000”にリセットされます。

エンドレスシリーズ録画について

シリーズ録画機能を使い、2台のVTRでエンドレスシリーズ録画を行えます。2台のVTRが交互にシリーズ録画を続けます。
この機能を使用するには、次の様に接続および設定をしてシリーズ録画を行なってください。

■接　続

・1台目の［SERIES REC OUT］端子と2台目の［SERIES REC IN］端子を接続、2台目の［SERIES REC OUT］端子と2台目の［SERIES REC IN］端子を接続します。



・映像／音声信号の接続は40ページ接続図と同様にしてください。

■設　定

・2台のVTRとも、メニュースイッチ「シリーズ／外部録画」設定を“シリーズ”に設定します。
・2台のVTRとも画質／動作設定のメニュースイッチ「自動巻戻し」を“入”に設定します。

■途切れのないエンドレスシリーズ録画を行うにはカウンターエンド出力機能を併用してください。
テープ終端の少し前の位置でカウンターエンド信号を出力するように設定します。
・2台のVTRともシリーズ／外部録画設定のメニュースイッチ［カウンターエンド出力］を“5500”に設定します。
（T120カセットテープの場合）

※ カウンターエンド出力機能を使用し、自動巻戻しが“入”の時、テープがテープ頭に巻き戻されると、自動的にテープリールカウンターは“0000”にリセットされます。

ご注意
エンドレスシリーズ録画を続けるとテープおよびVTRをいためる原因となります。
特に、テープ交換を適時行ってください。
（27ページ参照）

第６章　録画のしかた（つづき）

6-7　リピート録画のしかた

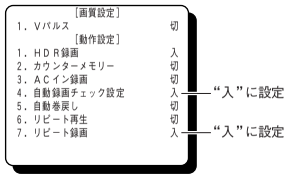
本機はテープの終りまで録画すると、自動的にテープが巻戻され、テープ頭から反復録画するリピート録画機能を備えています。

■ リピート録画を行う場合には画質／動作設定のメニュースイッチ「**リピート録画**」を“入”に設定してください。
・本体ディスプレイのREPEAT表示が点灯します。

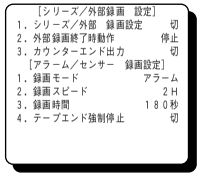
■ アラーム／センサー録画モード設定画面のメニュースイッチ「テープエンド強制停止」の設定について
・このメニュースイッチを“停止”に設定すると、アラーム録画やセンサー録画が１回でもあった場合、テープが終わったとき、強制的に停止状態になります。
録画中にアラーム録画やセンサー録画があった場合でも、リピート録画を続ける場合はこのメニュースイッチ「テープエンド強制停止」も“切”に設定してください。

テープエンド強制停止にしてのリピート録画モード時、アラーム録画またはセンサー録画があるとREPEAT表示は消灯します。

画質／動作設定画面



アラーム／センサー録画設定画面



※ リピート録画を行うと、先に録画されたアラーム録画は消去されます。

自動録画チェック機能について

本機はリピート録画の頭部分で正しく記録されているかどうかのチェックを自動的に行う自動録画チェック機能を備えています。

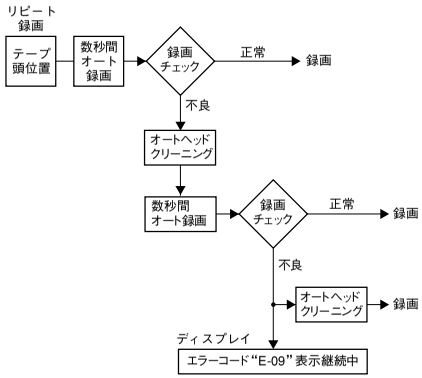
● 自動録画チェック機能を働かすには、画質／動作設定のメニュースイッチ「自動録画チェック設定」を“入”に設定してください。

自動録画チェック機能の動作

● リピート録画のテープ頭部分で数秒間録画を行ない、自動的にその部分を再生し、テープに正しく記録されているかどうかをチェックします。正しく記録されていれば録画を続けます。

● 正しく記録されていなかった場合、自動的にヘッドをクリーニングし、再度、数秒間録画を行い、録画チェックを行います。2回目の録画チェックでも正常でなかった場合、ディスプレイにエラーコード“E-09”を表示して録画を続けます。

メニュースイッチ「自動録画チェック設定」：“入”設定時



ご注意
・リピート録画を繰り返し長時間使用すると、テープおよびVTRをいためる原因となります。
特にテープは適時交換してください。（参照27ページ）

第６章　録画のしかた（つづき）

6-8　外部のVTR起動信号による録画のしかた

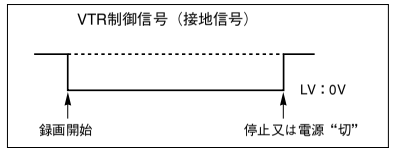
本機は背面パネルの［SERIES REC IN］端子にVTR起動信号を入力する事により、録画の開始、停止動作を外部から制御することができます。

※外部録画機能を100回／1日を超える頻度で使用すると、本機の機構が保証できる範囲を越えるため故障する恐れがあります。100回／1日を超えて使用したい場合は録再スピードを2H, 6H, L12H, L18H, L24Hのいずれかに設定し、かつ定期的な保守点検、部品交換を行ってください。

背面パネル

接　続

・本機背面パネルの［SERIES REC IN］端子端子および［COM］端子と外部制御装置とを接続します。



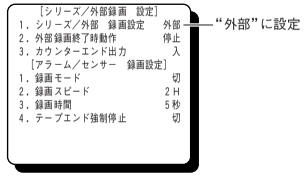
操　作

1. **外部録画機能を使用するためシリーズ／外部録画設定のメニュースイッチ「シリーズ／外部録画設定」を“外部”に設定します。**
・外部録画機能で録画を終了したときのモードをメニュースイッチ「外部録画終了時動作」で選択します。
“停止”に設定すると、停止状態になります。
“パワーオフ”に設定すると電源が切れます。

2. **［メニュー］ボタンを押して、オンスクリーン表示をタイムデート表示に戻します。**

3. **ツメのあるカセットテープを挿入し、停止状態または電源を切った状態にします。**
・背面パネルの［SERIES REC IN］端子にVTR起動信号（接地入力）が入力されると自動的に録画を始め、起動信号が入力されている間、録画を続けます。起動信号が入力されなくなると停止状態または電源が切れた状態になります。（メニュースイッチにて設定）
・再び起動信号が入力されると録画を始めます。

アラームサーチ／日時サーチするには
・アラーム録画やセンサー録画は５秒以上録画してください。
・長時間タイムラプスモードで録画する場合、録画時間が短いと、日時サーチが正しく行えません。
日時サーチを正常に動作させるためには、標準または3倍モード再生時、５秒以上に相当する録画時間が必要です。
（例）960H通常タイムラプス録画の場合40分以上の録画時間が必要です。



シリーズ／外部録画設定画面

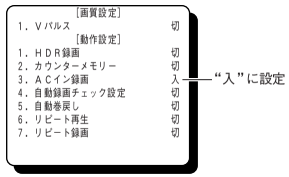
・外部録画機能は停止状態、電源“切”状態の他、録画一時停止状態からも動作します。
・［録画］ボタンによる録画中、VTR起動信号が入力されると、そのまま録画を続け、起動信号が無入力になると録画を終了します。
・再生時、外部録画機能による録画のつなぎめ目で画面が乱れたり、ノイズが出たりすることがありますが故障ではありません。

ご注意
・TIMER表示が点灯時、または動作設定メニュースイッチ「リピート録画」が“入”設定時、外部録画は実行しません。リピート録画したい場合はメニュースイッチ「リピート録画」を“切”にし、「自動巻戻し」を“入”に設定してください。

6-9　停電復帰録画のしかた

本機は録画中に停電があっても、停電が復帰した後、自動的に停電する前のモードで録画を開始する停電復帰録画機能を備えています。
この機能を使用する場合には画質／動作設定画面のメニュースイッチ［AC イン録画］を“入”に設定してください。

※ このメニュースイッチを“入”に、しておくと停止状態でも電源を切った後、再度電源を入れると自動的に録画モードになりますのでご注意ください。



画質／動作画面

6-10　外部タイマー録画

本機は外部タイマーとの接続により外部タイマー録画が行えます。

1. ビデオカセットが挿入されていることを確認してください。

※ カセットの誤消去防止用ツメが折れている場合外部タイマー録画が行なえません。
※ 本機がタイマー録画になっている時は、この機能は働きません。

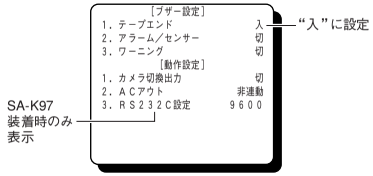
2. 画質／動作設定画面のメニュースイッチ「AC イン録画」を“入”に設定してください。設定された時刻に外部タイマーから電源が供給され、本機は録画モードになります。
・録画モードは電源供給前の録画スピードで録画します。電源供給前、アラーム録画やセンサー録画であった場合、アラーム録画やセンサー録画モードは解除され、通常の録画を開始します。

6-11　テープエンド警告ブザーについて

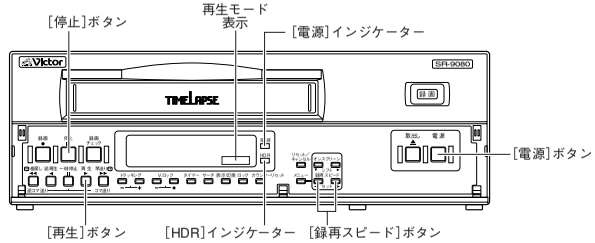
本機は録画時テープエンドになると、テープエンドを知らせるブザー音の ON/OFF ができます。

■ ブザー音を発信させたいときは、ブザー設定画面のメニュースイッチ「テープエンド」を“入”に設定してください。
・シリーズ／外部録画設定のメニュースイッチ「カウンターエンド出力」を“切”以外に設定した場合、設定したリールカウンターの値になるとブザー音が鳴ります。

■ ブザーは鳴り続けます。ブザー音を止める場合、ブザー設定のメニュースイッチ「テープエンド」を“切”にするか［巻戻し］ボタン等で他の操作にするか［電源］ボタンを押してください。
■ リピート録画およびオート REW 時は約２秒間鳴ります。



ブザー設定画面



7-1　再生時の設定について

接　続

背面パネルの各出力端子を正しく接続します。

メニュースイッチの設定

必要に応じて画質／動作設定のメニュースイッチを設定してください。

■ ［Ｖパルス］･･･工場出荷時設定：切
通常再生（2H または 6H モード）時、Ｖパルスを付加するとき“入”に設定します。
■ ［カウンターメモリー］･･･工場出荷時設定：切
カウンターメモリー機能の入／切設定です。
・カウンターメモリー機能を使う場合“入”に設定します。
■ ［自動巻戻し］･･･工場出荷時設定：切
自動巻戻し機能の入／切設定です。
・“入”に設定すると、テープエンドになったとき自動的にテープ頭まで巻戻します。
■ ［リピート再生］･･･工場出荷時設定：切
リピート再生の入／切設定です。
・リピート再生する場合、“入”に設定します。

※ L12H、L18H、L24H モードで記録したテープの音声を確認するには、記録時と同じモード（L12H、L18H または L24H）で再生してください。
※ 2H モードで記録したテープを L12H、L24H モードで再生すると、映像にノイズが入ります。
6H モードで記録したテープを L18H モードで再生すると映像にノイズが入ります。
［録再　スピード］ボタンを押して、再生スピードを 2H または 6H に変えて、再生してください。
※ SR-9080 以外のセットで記録したテープを本機で再生した場合、映像にノイズが出ることがあります。

7-2　再生のしかた

1. ［電源］ボタンを押し、電源を投入してください。電源インジケーターが点灯します。

2. ［録再スピード＋/－］ボタンを押して再生モードを 2H もしくは 6H モードにします。
ディスプレイ部に“2H”もしくは“6H”が表示するように設定します。

・ タイムラプスモードで記録されているテープをゆっくり再生するには［録再スピード＋/－］ボタンを押して、タイムラプスモード（L12H、L18H、L24H、24H･･･960H）を適当な値に設定してください。（スロー再生）
※ スロー再生を連続して長時間（数時間以上）使用することは避けてください。

3. 録画済カセットテープを正しく入れます。
・ 電源が“切”の状態でもカセットテープを入れると自動的に電源が入ります。（オートパワーオン機能）
ツメの折れたカセットテープを入れた場合、電源が入った後自動的に再生を開始します。（オートプレイ機能）

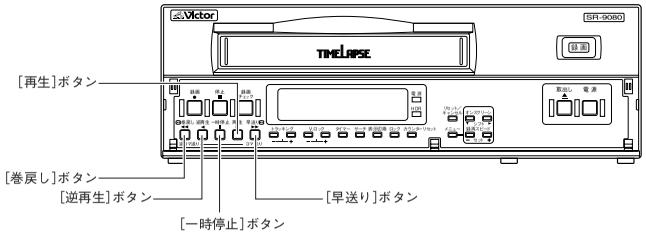
4. ［再生］ボタンを押すと再生を始めます。
ディスプレイに再生マークが表示され再生状態になります。
HDR（高密度録画）モードで記録したテープ再生時、［HDR］インジケーターが点灯します。
※ L12H、L18H、L24H を除く、タイムラプス再生モード時、音声は出力されません。

再生モードを2Hもしくは6Hに設定時、以下の様に再生します。
・ 2H および通常（SP）タイムラプス録画されたカセットテープは2H（SP）モードで再生します。この場合、ディスプレイ部に“2H”を表示します。
・ 6HモードまたはHDR（高密度記録）タイムラプスモードで録画されたカセットテープは6H（EP）モードで再生します。この場合、ディスプレイ部に“6H”を表示します。

再生を止める場合は

5. ［停止］ボタンを押します。
テープ走行は停止し、停止状態になります。

第７章　再生･特殊再生のしかた（つづき）



7-3　特殊再生のしかた

静止画再生のしかた

1. 再生中に［一時停止］ボタンを押します。

ディスプレイ部に静止画マークが表示され静止画状態になります。

2. ［再生］ボタンを押すと、通常の再生状態に戻ります。

※ 静止画状態を約3分続けるとテープ保護のため自動的に停止状態になります。

コマ送り再生のしかた

1. 再生中に［一時停止］ボタンを押して静止画状態にします。

2. ［一時停止］ボタンを押した状態で、［早送り］ボタンまたは［巻戻し］ボタンを押します。

［早送り］または［巻戻し］ボタンの押し方により、次の様な動作になります。

■［早送り］ボタンまたは［巻戻し］ボタンを押す毎に早送り方向または巻戻し方向に１コマずつコマ送り再生します。

■［早送り］ボタンまたは［巻戻し］ボタンを２秒以上押すと、早送り方向または巻戻し方向に連続的にコマ送り再生します。（連続コマ送り再生）

3. 連続コマ送り再生時、［一時停止］ボタンを押すと静止画状態に戻ります。

※・連続コマ送り再生時、音声は出力しません。
・連続コマ送り再生を約3分続けるとテープの保護のため、自動的に停止状態になります。
・早送り方向のコマ送りから巻戻し方向のコマ送り再生に切換えたとき､数秒間画面にノイズが出ることがあります。

逆再生のしかた

1. 録画、録画一時停止、録画チェック以外の時［逆再生］ボタンを押します。

ディスプレイ部に逆再生マークが表示され、逆再生状態になります。

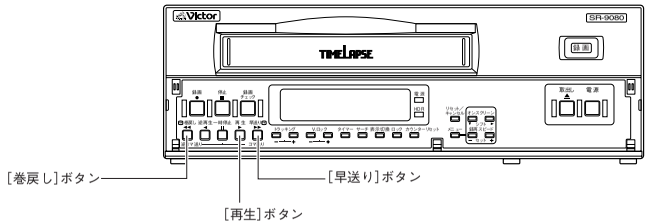
・再生スピードモードの設定に関係なく2Hモードまたは6Hモードの速度で逆再生します。

※ 音声は出力しません。

2. 静止状態にするときは［一時停止］ボタンを押してください。

通常の再生状態にするときは、［再生］ボタンを押してください。

第７章　再生･特殊再生のしかた（つづき）



シャトルサーチ（巻戻し･早送り）再生のしかた

再生中に、［早送り］または［巻戻し］ボタンを押すと早送り再生または巻戻し再生します。

■ 早送り再生する

再生中に［早送り］ボタンを押します。

ディスプレイ部に早送りマークが表示され早送り再生状態になります。

■ 巻戻し再生する

再生中に［巻戻し］ボタンを押します。

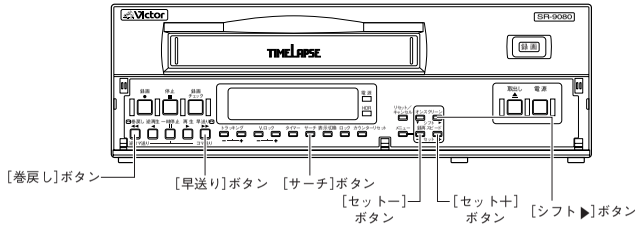
ディスプレイ部に巻戻し再生マークが表示され巻戻し再生状態になります。

・［早送り］ボタンまたは［巻戻し］ボタンの押し方により、下表のように動作します。

テープの録画状況 ＼ 巻戻し･早送りボタン操作方法	2H（SP）または通常タイムラプスモードで記録したテープ	6H（EP）またはHDRタイムラプスモードで記録したテープ
一度ポンと押す	2H（SP)モードの7倍速で再生します。(ラッチ)［再生］ボタンを押すと通常再生になります。	6H（EP)モードの21倍速で再生します。(ラッチ)［再生］ボタンを押すと通常再生になります。
2秒以上押し続ける	2H（SP）モードの７倍速で再生します。指を離すと通常再生になります。	6H（EP）モードの13倍速で再生します。指を離すと通常再生になります。

・ラッチ･･･指を離してもシャトルサーチを続けた状態を保ちます。

※ シャトルサーチ時、音声は出力しません。



7-4　アラームサーチ／日時サーチのしかた

本機はテープ位置を検索するためのサーチ機能として、3 通りのモードを備えています。
［サーチ］ボタンを押すと、サーチモードとなります。［サーチ］ボタンを押す回数によりサーチモードを選択します。

- （1 回）アラームサーチ　：アラーム録画の開始部分を頭出しします。
- （2 回）アラームスキャン：各アラーム録画の開始付近を数秒間ずつ再生します。
- （3 回）日時サーチ　　：指定した日時の録画部分を探します。

［サーチ］ボタンを 4 回押すと、サーチモードは解除されます。

日時サーチについてのご注意

特に、タイムラプスモードで録画した場合、録画時間が短いと、日時サーチが正しく動作しません。
標準（2H）または 3 倍（6H）モード再生時、5 秒以上に相当する録画時間が必要です。
（例）960H 通常タイムラプス録画時、40 分以上の録画時間が必要です。

■ アラームサーチのしかた

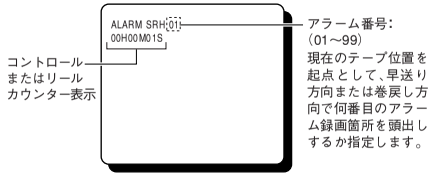
指定したアラーム録画を検索し、停止状態になります。

1. 停止状態で［サーチ］ボタンを 1 回押します。
→本機はアラームサーチモードとなり､モニターにアラームサーチ設定画面を表示します。
本体ディスプレイの録再スピードモード表示部に“AL01”が点滅表示します。
※アラームサーチモードを解除するときは［サーチ］ボタンを 3 回押してください。

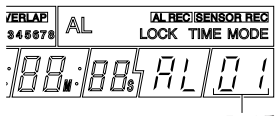
2. 検索したいアラーム録画の箇所を指定します。
［セット＋］または［セット－］ボタンを押して、01 ～ 99 のアラーム番号を指定します。
指定したアラーム番号はモニター画面およびディスプレイに表示されます。

3. ［早送り］または［巻戻し］ボタンを押します。
→早送りまたは巻戻し動作をします。
現在の位置から指定したアラーム番号のアラーム録画の頭部分を検索し、停止状態になります。
アラームサーチモードは自動的に解除されます。

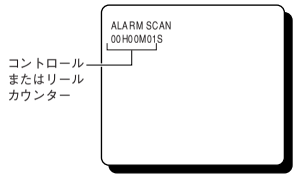
アラームサーチ設定画面



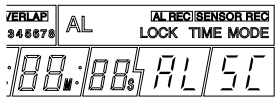
本体ディスプレイ



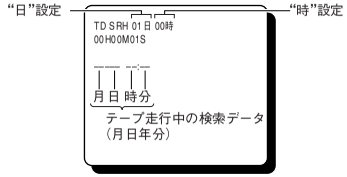
アラームスキャン設定画面



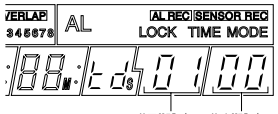
本体ディスプレイ

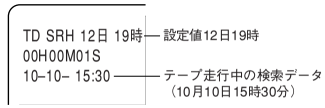


（日時サーチ設定画面）

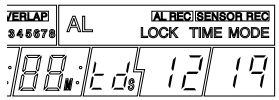


本体ディスプレイ





本体ディスプレイ



■ アラームスキャンのしかた

アラーム録画の開始付近を約 5 秒ずつ再生します。
※ アラーム録画開始部分を数秒過ぎてから再生する場合があります。
※ アラーム録画の間隔が短い場合は5秒以上連続再生することがあります。
※ 音声は出力しません。

1. 停止状態で［サーチ］ボタンを 2 回押します。
→アラームスキャンモードとなり、モニター画面に“ALARM SCAN”を表示します。
本体ディスプレイの録再スピードモード表示部に“AL SC”を表示します。
※ アラームスキャンモードを解除する時は［サーチ］ボタンを 2 回押してください。
2. ［早送り］ボタンは［巻戻し］ボタンを押します。
→現在位置から早送りまたは巻戻ししながら､アラーム録画の開始付近を約 5 秒ずつ再生します。
3. 見たい場合で［再生］ボタンを押してください。
→再生を始め、アラームスキャンモードは解除されます。

- アラームサーチやアラームスキャン動作中､そのモードを解除したいときは［停止］ボタン､［再生］ボタン､［逆再生］ボタンまたはテープ走行とは逆方向の［巻戻し］／［早送り］ボタンを押してください。
- アラームサーチやアラームスキャン動作中､テープ頭またはテープ終りになると､アラームサーチやアラームスキャンモードは解除され、停止状態になります。

■ 日時サーチのしかた

指定した日時の録画部分を検索し、停止状態になります。

1. 停止状態で［サーチ］ボタンを 3 回押します。
→日時サーチモードとなり､モニターに日時サーチ設定画面を表示します。
本体ディスプレイに“td 0:00”を表示します。
※ 日時サーチモードを解除するときは［サーチ］ボタンを 1 回押してください。
2. ［セット］＋または－ボタンを押して、検索したい“日”を設定します。（01 ～ 31）
3. ［シフト▶］ボタンを押して､“時”設定部を点滅させます。
4. ［セット］＋または－ボタンを押して、検索したい“時”を設定します。（00 ～ 23）
5. ［早送り］ボタンまたは［巻戻し］ボタンを押します。
→現在位置から早送りまたは巻戻ししながら､指定した日時を検索し、停止状態になります。
日時サーチモードは解除されます。
- 指定した日時検索中､モニター画面上に検索過程の月･日･時･分を表示します。
- 指定した日時が検索できずにテープ頭またはテープ終りになると､日時サーチモードは解除され、停止状態になります。

ご注意

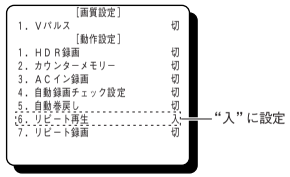
- アラーム録画開始の付近では､正しく日時サーチしないことがあります。
- タイマー録画開始時刻を日時サーチした場合､正常に動作しないことがあります。
- 日時サーチは検索方向に目的の日時が無い場合は検索できません。

第７章　再生･特殊再生のしかた（つづき）

7-5　リピート再生

本機はテープエンドまで再生すると、繰り返しテープの始めから再生を開始するリピート再生が行えます。
・リピート再生するときは、画質／動作設定のメニュースイッチ「**リピート再生**」を“入”に設定してください。

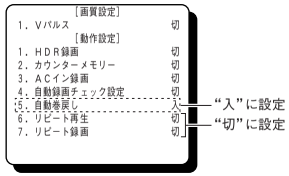
（画質／動作設定画面）



■ オートリワインドについて

本機はテープエンドまで録画、再生もしくは早送りすると、自動的にテープを巻戻し、テープの始めで停止します。
・オートリワインドするときは画質／動作設定のメニュースイッチ「**自動巻戻し**」を“入”に設定してください。

（画質／動作設定画面）

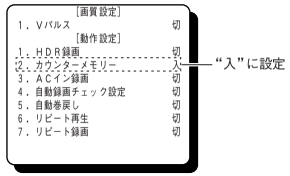


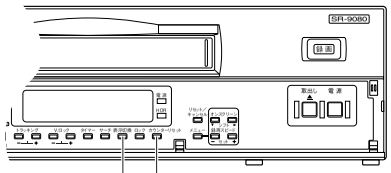
ご注意
・メニュースイッチ「リピート再生」や「リピート録画」を“入”に設定していると、再生または録画時、テープ始めで停止せずリピート再生またはリピート録画を行ないます。

7-6　カウンターメモリーについて

本機は早送りや巻戻し状態でコントロールテープカウンターが“00:00:00”またはリールテープカウンターが“0000”になったとき、自動的に停止状態になるカウンターメモリー機能があります。
■カウンターメモリー機能を働かす場合、画質／動作設定のメニュースイッチ「**カウンターメモリー**」を“入”に設定してください。

（画質／動作設定画面）





操　作

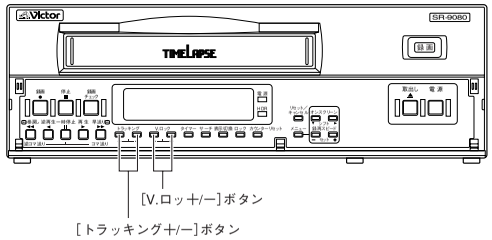
1. カウンター表示モードを選択します。
・フロントパネルの［表示切換］ボタンを押して、カウンター表示モードをコントロールテープカウンターまたはリールテープカウンターにします。

2. 停止させたい位置で、［カウンターリセット］ボタンを押してください。
→カウンターが00H00M00Sまたは“0000”になります。
■録画や再生などの操作をします。

3. 停止状態にして、［早送り］ボタンまたは［巻戻し］ボタンを押します。
→カウンターが00H00M00Sまたは“0000”になると、自動的に停止状態になります。

ご注意
リピート録画／再生時、オートリワインド時およびアラームサーチ／アラームスキャン／日時サーチ時はそれぞれの動作が優先され、カウンターメモリーは働きません。

第７章　再生･特殊再生のしかた（つづき）



7-7　トラッキング／Ｖロック調節のしかた

再生／コマ送り再生の画面にノイズがあるときは

本機は次のモードの時、トラッキング調節ができます。
・2H（標準）、6H（3倍）およびL12H、L24Hを除くタイムラプスモード再生時
・コマ送り再生時
■［トラッキング］ボタンの＋ボタンまたは－ボタンを押し、ノイズがなくなるように調節します。
・トラッキングのプリセットモードに戻すときは＋ボタンと－ボタンを同時に押します。

ご注意
L12H、L24Hリニアスロー再生時、トラッキング調節はできません。

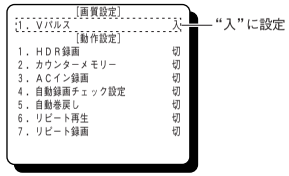
静止画再生中およびタイムラプスモード再生中に画面が上下に揺れるときは

［V.ロック］ボタンの＋ボタンまたは－ボタンを押して揺れが止まるように調節します。

7-8　V.パルスについて

画面が乱れるときは、画質／動作設定のメニュースイッチ「V.パルス」を“入”にします。
このメニュースイッチは2H、6H再生モード時のみ有効です。通常は“切”で使用します。

（画質／動作設定画面）



・電源同期のカメラ等をスイッチャーで切換えたときなど、切換え点で画が乱れる場合があります。そのようなときにモニターをロックさせ画が乱れないようにするメニュースイッチです。
［通常再生（2H、6H）のみ］
・静止画再生、タイムラプス再生時は、常にV.パルスが出ています。

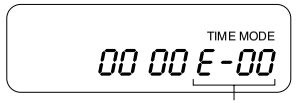
8-1　エラー表示の出るトラブル

本機は、カセットの取出し、テープローディング、アンローディングおよびメカの回転動作で異常があった場合、ディスプレイにエラー表示をします。

- 本機に異常があった場合、ディスプレイにエラー表示“E-＊＊”を表示します。（本体表示設定メニュースイッチ「ワーニング」が“入”設定時）
- エラー表示時、背面パネルのWARNING OUT端子より12Vのワーニング信号を出力します。（E-01～E-08）
- ブザー設定画面のメニュースイッチ「ワーニング」を“入”に設定すると異常があったとき警告音が鳴ります。（E-01～E-08および録画時E-11）

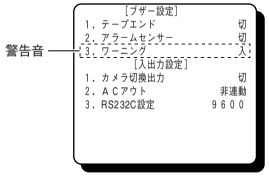
※エラー表示や警告音があった場合、もう一度電源を入れ直さないと解除しません。(E-01～E-07の場合)
電源を入れ直しても“E-＊＊”を表示する場合、エラー表示によっては故障が考えられますので最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

ディスプレイ部



エラー表示

ブザー設定画面



エラー表示	内　容	VTR動作	処　置
E-01	ローディング動作異常	電源が切れます。	[電源]ボタンで電源を入れ直してください。
E-02	アンローディング動作異常	電源が切れます。	[電源]ボタンで電源を入れ直してください。
E-03	サプライリール回転異常	電源が切れます。	[電源]ボタンで電源を入れ直してください。
E-04	ドラム回転異常	電源が切れます。	[電源]ボタンで電源を入れ直してください。
E-05	テークアップリール回転異常	電源が切れます。	[電源]ボタンで電源を入れ直してください。
E-06	キャプスタン回転異常	電源が切れます。	[電源]ボタンで電源を入れ直してください。
E-07	イジェクト動作異常	電源が切れます。	[電源]ボタンで電源を入れ直してください。
E-08	つゆ付き	カセットをイジェクトし、ドラムが回転を始めます。カセットの挿入はできません。	電源を入れたまま、エラー表示が消えるまで待ってください。
E-09	録画チェックエラー（録画不良）	VTR内部のヘッドクリーナーがヘッドをクリーニングします。	ヘッドクリーニングでヘッドを清掃して、もう一度、録画の画質を確認してください。テープの不具合も考えられますので、テープを交換して再確認してください。再確認でも画質が悪い場合は、お買上げ販売店かお近くのビクターサービス窓口にご相談ください。
E-10	時計，タイマーバックアップ用内蔵バッテリー容量不足	停電があると、時計，タイマー設定内容や録再スピード設定がリセットされることがあります。	内蔵バッテリーの交換は最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。
E-11	［VIDEO IN］端子にビデオ信号が入力されていない。	－	ビデオ信号を入力してください。
E-12	EEPROMに書き込みできない。	－	最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。
E-13	テープ切れ	カセットをイジェクトします。イジェクト中のみエラー表示します。	カセットを交換してください。
E-98	システムエラー	電源が切れます。	最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。
E-99	システムエラー	電源が切れます。	最寄りのビクターサービス窓口にご相談ください。

※本機はマイコンを使用した機器です。外部からの雑音や妨害ノイズにより正常に動作しないことがあります。このようなときは、電源を切って電源プラグをコンセントから抜いて、再度差し込み動作を確認してください。

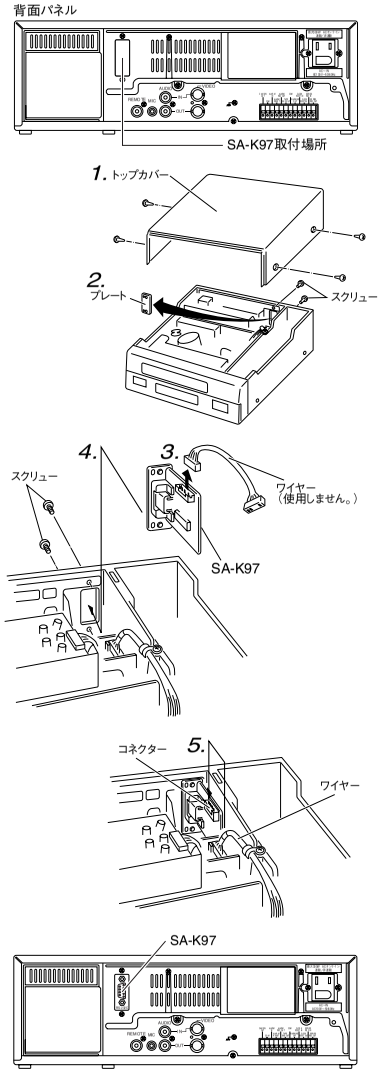
8-2　エラー表示の出ないトラブル

症　状	原　因	処　置
電源が入らない。	・電源コードがはずれていませんか。 ・TIMER表示が点灯してませんか。 ・オペレーションロック状態になっていませんか。	・電源コードを100Vコンセントへ差し込んでください。 ・タイマーボタンを押して　TIMER表示を消してください。 ・オペレーションロックを解除してください。
録画・再生中、操作ボタンを押しても操作できない。	・オペレーションロック状態になっていませんか。 ・TIMER表示が点灯していませんか。	・オペレーションロックを解除してください。 ・タイマボタンを押してTIMER表示を消してください。
再生中画像がでない。	モニターTVは正しく接続されていますか。	モニターTVを正しく接続してください。
シャトルサーチ、静止画再生、コマ送り再生時に、画像にノイズがでる。	故障ではありません。	－
再生画面の一部にノイズが出る。	トラッキングは合っていますか。	きれいになるようトラッキング＋／－ボタンで調節してください。 （L12H、L24H再生時、トラッキング調節できません。）
L12H、L24HまたはL18Hモード再生時、画面にノイズが出る	L12H, L24H, L18H以外のモードで記録したテープを再生していませんか。この場合、ノイズが出ます。	・2Hまたは6Hモードで再生してください。
再生すると、ザラザラした画面になったり、画面が消えてしまう。	ビデオのヘッドにごみがたまっているかもしれません。	市販のヘッドクリーニングテープで清掃してください。それでも画質が悪い場合はお買い上げの販売店か、お近くのビクターサービス窓口にご相談ください。
再生中音声が聞こえない。	L12H, L18H, L24H以外のタイムラプスモードで録画していませんか。この場合、音声は録音されていません。 アラームスキャン時の再生では音声は出力しません	音声が録音されているテープをご使用ください。 （L12, L18, L24Hモードで記録してください。）
再生時、音程が高く聞き取れない。	L12H, L18HまたはL24Hタイムラプスモードで録画したテープを2H（SP）または6H（EP）モードで再生していますか。この場合、音程が高くなります。	録画時のモードと同じモード(L12H, L18HまたはL24H)で再生してください。
録画ができない。	カセットのツメはついていますか。	ツメのないカセットは、ツメの部分にセロハンテープを貼ってください。
タイマー録画ができない。	時計と録画予約は正しくセットされていますか。 TIMER表示は点灯してますか。	もう一度確かめてください。 もう一度確かめてください。
時計合わせができない。	TIMER表示は点灯していませんか。	タイマーボタンを押して　TIMER表示を消してください。
録画、再生、早送り、巻戻し中にテープ走行音がする。	ビデオは、モーターや回転ヘッドをつかってテープに記録・再生していますので、使用中は走行音が発生しますが故障ではありません。	気になるときは、市販のラックなどに収納してご使用ください。
タイムデートが表示されない。	・時刻設定はされていますか。 ・モニター表示設定のメニュースイッチが“切”になっていませんか。	・時刻を設定してください。 ・モニター表示設定のメニュースイッチを“入”に設定してください。
録画時、オートREWやリピート録画できない。	・アラームセンサー録画設定のメニュースイッチ［テープエンド強制停止］が“停止”になっていませんか。	・メニュースイッチ［テープエンド強制停止］を“切”に設定してください。
カメラが切り換わらない。	・入出力設定のメニュースイッチ［カメラ切換出力］が“切”になっていませんか。	・本機でカメラの切り換えタイミングを設定する場合、メニュースイッチを“1 FIELD”または“2FIELD”に設定してください。
外部録画ができない	・動作設定メニュースイッチ「リピート録画」が“入”になっていませんか。	・外部録画でリピート録画したい場合は「リピート録画」を“切”にして、「自動巻戻し」を“入”に設定してください。

第９章（別売）SA-K97　RS-232C インターフェースボード

本機に別売のRS-232CインターフェースボードSA-K97を装着することにより、本機・フロントパネルでの操作内容をパーソナルコンピューターでコントロールできます。同時に各種ステータスを読み出すことができます。

9-1　SA-K97 の取付け



取付手順は以下の通りですが、感電や、けがの恐れがありますので、資格のある方、またはビクターサービス窓口に依頼してください。

⚠注意

感電する可能性があるので、SA-K97を取付ける前に電源コードをコンセントから外し、電源を切ってください。

1. トップカバーを外します。

⚠注意

トップカバーを外すときカバーの端面で手などをけがしないように注意してください。

トップカバー固定用スクリュー4本を外し、トップカバーを外します。

2. VTRのプレートを外します。

背面パネルの2本のスクリューを外し、VTRの内側からプレートを外します。

3. SA-K97のワイヤーを外します。

※SA-K97のワイヤーは使用しません。

4. VTRにSA-K97を取付けます。

図の様な向きにして手順**2.**で外したスクリューでSA-K97の取付板をVTRに固定します。

5. VTRのワイヤーをSA-K97のコネクターに接続します。

・コネクターの向きを確認して、挿入してください。
・コネクターの両端を押して、確実に挿入してください。

6. トップカバーを本体に取付け、手順**1.**で外したスクリュー4本で固定します。

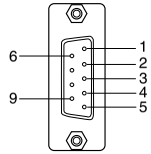
第９章（別売）SA-K97 RS-232C インターフェースボード（つづき）

9-2　SA-K97 仕様

9ピンコネクター仕様

Pin No	信　号	動　作	信号の方向
2	RXD	受信データ	VTR ← CPU
3	TXD	送信データ	VTR → CPU
4	DTR	データ端末レディ	VTR → CPU
5	GND	信号接地	
6	DSR	データセット・レディ	VTR ← CPU

出力レベル
ON　：＋5V以上
OFF　：－5V以下



データ形式

・モード　：非同期
・キャラクター長　：8ビット
・データ速度　：600、1200、2400、4800、9600bps
（オンスクリーンメニュースイッチにて切換、工場出荷時設定:9600bps）
・パリティチェック　：なし
・ストップビット　：1ビット

構成

0 (SPACE) / 1 (MARX)	Start bit	D0	D1	D2	D3	D4	D5	D6	D7	Stop bit

9-3　RS-232C プロトコル＆コマンド

RS-232C プロトコル

本機は下表に示すJVCテーブル1コマンドの他にJVCベーシックテーブルのコマンドが有ります。下表の　部のコマンドはJVCテーブル1とJVCベーシックテーブルの双方に有るコマンドです。JVCベーシックテーブルには　以外のコマンドは有りません。

JVC テーブル1コマンド表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0				Data “0”	ENTER		TIMER ON	ON SCREEN ON				VISS FWD		FRAME CODE (COUNT)		
1	COMPLE-TION			Data “1”	CLEAR ERROR		TIMER OFF	ON SCREEN OFF				VISS REV	REC CHECK	DEVICE TYPE	AL . PL RESET	
2	ERROR			Data “2”			PRG/CLK	ROM VER						HOUR METER SENSE	COUNT RESET	
3	CASSETTE OUT			Data “3”			SHFT+	POSV+			EJECT	SEARCH (VISS)				
4				Data “4”			SHFT−	ON SCREEN SELECT								
5	NOT TARGET			Data “5”			SET+	POSH+						PL .AL COUNT SENSE		
6	ALARM INPUT			Data “6”		CLEAR	SET−		TL STATUS SET					TL STATUS SENSE		JVC TABLE1 ON
7				Data “7”			CANCEL							STATUS SENSE		JVC TABLE1 OFF
8				Data “8”												
9				Data “9”			OPE LOCK ON									
A	ACK			PLAY	REV PLAY		OPE LOCK OFF						REC			REC REQUEST
B	NAK							POWER ON			FF		REC PAUSE			VTR INQ
C								POWER OFF			REW					
D								MODE SHIFT			F-FIELD STEP					
E								MODE	DATE SET		R-FIELD STEP	DATE SENSE				
F				STOP	STILL				TIME SET			TIME SENSE				

9-3 RS-232C プロトコル＆コマンド（つづき）

ここでは、SR-9080をRS-232Cでコントロールするためのプログラムを作られる方を対象に書かれています。

コマンド解説

準　備

※以下のコマンドを使用するために準備をして下さい。
●JVC TABLE 1 “ON” コマンド（F6H）をVTRに送って下さい。(電源投入時、“ON”状態です。)
VTRはACK（0AH）を返します。
●JVC TABLE 1 “OFF” コマンド（F7H）を送るまで、VTRは次に説明するコマンドを受付けます。

VTR操作コマンド

次の（1）から（12）までは1バイトで完結するコマンドです。VTRはACK（0AH）を返しますのでACKを確認してから次のコマンドを送ってください。

（1） POWER ON（7BH）：VTRの電源“ON”。
OFF（7CH）：VTRの電源“OFF”。
（2） PLAY（3AH）：再生。
（3） STILL（4FH）：一時停止。
（4） STOP（3FH）：停止。
（5） FF（ABH）：早送り。VTRが再生中は早送り再生になります。
（6） REW（ACH）：巻戻し。VTRが再生中は巻戻し再生になります。
（7） REV PLAY（4AH）：－1倍速再生。
（8） TIMER ON（60H）：タイマー“ON”。
OFF（61H）：タイマー“OFF”。
（9） OPE LOCK ON（69H）：オペレーションロック“ON”。
OFF（6AH）：オペレーションロック“OFF”。
（10） EJECT（A3H）：テープ取出し。
VTRはACKを返した後、テープ取出しが完了するとCASSETTE OUT（03H）を返します。
（11） F-FIELD STEP（ADH）：VTRが一時停止モードの時、FWD方向に1フィールドコマ送りをした後、一時停止になります。
VTRが他の再生モードの時、一時停止になります。。
（12） R-FIELD STEP（AEH）：VTRが一時停止モードの時、REV方向に約1フィールドコマ送りした後、一時停止になります。
VTRが他の再生モードの時、一時停止になります。
（13） REC CHECK（C1H）：録画チェックを行ないます。
（機能は本体操作ボタンでの内容と同じです。）

次の（14）および（15）は直前にREC/DUB REQUEST（FAH）を送り、VTRからのACK（0AH）を確認した後に送ってください。

（14） REC（CAH）：録画を開始します。－VTRからはACK（0AH）が返されます。ただしテープのツメ（REC TAB）が折れていると、NAC（0BH）が返されます。
● 録画モード時、REC PAUSE（FAH＋CBH）を送ると録画一時停止モードになります。
● 録画モード時STOP（3FH）を送ると停止状態になります。
（15） REC PAUSE（CBH）：録画一時停止モードになります。－VTRからはACK（0AH）が返されます。
ただし、テープのツメが折れていると、NAC（0BH）が返されます。
● 録画一時停止モード時REC（FAH＋CAH）を送ると録画を開始します。
● 録画一時停止モード時STOP（3FH）を送ると停止状態になり、録画一時停止が解除されます。

第９章（別売）SA-K97 RS-232C インターフェースボード（つづき）

9-3 RS-232C プロトコル＆コマンド（つづき）

次の（16）及び（17）のコマンドは、コマンドを送った後に1バイトの数字データ（30Hから39H）及びデータ入力コマンド（40H）を送ってください。
数字データの30Hから39Hは、入力したい数字の0から9に対応します。
（0：30H、1：31H、…、9：39H）
なお、データ及びデータ入力コマンドはVTRからのACK（0AH）を確認してから送って下さい。
※（16）、（17）コマンドは、停止モードから実行してください。

（16） VISS FWD（B0H）：テープ上の希望のアラーム点に正方向にサーチします。
アラーム点は後続の2バイトの数字データで指定します。
（17） VISS REV（B1H）：現在のテープの位置からテープの希望のアラーム点に逆方向にサーチします。
アラーム点は後続の2バイトの数字データで指定します。
例） 現在のテープ位置から正方向に3ケめのアラーム点をサーチする。

VTRはACKを返した後にサーチを開始し、希望の地点が見つかると、COMPLETION（01H）を返します。希望の地点が見つかる前にテープの始端または終端に達すると、NOT TARGET（05H）を返します。
※30H30H、30H31Hはどちらも1ケめのアラーム点をサーチします。

（18）のコマンドは、コマンドを送った後に、2バイトの数字データ（30Hから39H）、データ入力コマンド（40H）、及び（FF（ABH）またはREW（ACH））を送って下さい。送信はVTRからのACK（0AH）を確認しながら1バイトずつ送ってください。
※停止モードから実行してください。

（18） VISS SEARCH（B3H）：テープ上の希望のアラーム点にサーチします。

VTRはACKを返した後にサーチを開始し、希望の地点が見つかると、COMPLETION（01H）を返します。希望の地点が見つかる前にテープの始端または終端に達すると、NOT TARGET（05H）を返します。
このコマンドはアラーム点へのサーチをさせる点で（16）、（17）のコマンドと同じですが、コマンドの中にFF（ABH）またはREW（ACH）を含む点が違います。

VTR各種設定コマンド

記録／再生モード設定コマンド、タイムラプスVTR操作モード設定コマンド、日付・時刻設定コマンド、タイマー設定コマンド、オンスクリーン設定コマンド、その他のコマンドがあります。

記録／再生モード設定コマンド

順次切換えるコマンドとダイレクトに設定するコマンドの2種類があります。

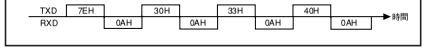
（1） MODE SHIFT（7DH）：記録／再生モードを順次切換えます。どのモードになっているかは、後述のTL STATUS SENSE（D6H）で確認出来ます。
切換えはVTRからのACK（0AH）を確認しながら1バイトずつ送って下さい。
（2） MODE（7EH）：記録／再生モードをダイレクトに設定します。MODE（7EH）を送った後に、数字データ（30Hから39H）を2バイト、データ入力コマンド（40H）を送ります。数字データと記録／再生モードとの対応は次のとおりです。

モード	先行バイト	後続バイト
2H	30H	30H
6H	30H	31H
（L12H	30H	32H）
*L18H	30H	32H
（L24H	30H	33H）
*24H	31H	36H
48H	30H	34H

モード	先行バイト	後続バイト
72H	30H	35H
120H	30H	37H
168H	30H	38H
240H	30H	39H
480H	31H	31H
960H	31H	33H

（　）：HDR録画“切”時のみ可
*　：HDR録画“入”時のみ可

例）L24Hモードに設定する。



タイムプラスVTR操作モード設定コマンド

(1) TL STATUS SET（86H）：タイムプラスVTRの操作モードを3バイトのデータで設定します。
VTRからのACK（OAH）を確認しながら1バイトずつ送ってください。

第1.2.3.バイトの設定内容は次の通りです。

第1バイト

BIT	BITが1の時の内容
0	リピート録画機能がON
1	未使用
2	ACイン録画（外部タイマーや停電復帰後の自動録画）がON
3	オートリワインドがON
4	未使用
5	シリーズ録画機能がON
6	録画時のテープエンドブザーがON
7	アラーム録画ブザーがON

第2バイト

BIT	BITが1の時の内容
0	未使用
1	アラーム録画機能がON
2	未使用
3	センサー録画機能がON
4	外部機器からの自動録画機能がON
5	未使用
6	未使用
7	ワーニングブザーがON

第3バイト

BIT	BITが1の時の内容
0	未使用
1	ACアウトが連動
2	未使用
3	未使用
4	HDR録画がON
5	自動録画チェック機能がON
6	未使用
7	未使用

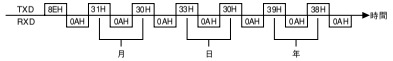
9-3 RS-232C プロトコル＆コマンド（つづき）

VTR 各種設定コマンド（つづき）

日付・時刻設定コマンド

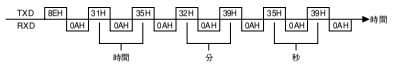
(1) 日付設定(8EH) ：VTRに現在の日付(月･日･年)を設定します。このコマンド(8EH)を送った後、1バイトの数字データ(30H-39H)を入力します。

(例) 10月30日1998年



(2) 時刻設定(8FH) ：VTRに現在の時刻(時間、分、秒)を設定します。このコマンド(8FH)を送った後、1バイトの数字データ(30H-39H)を入力します。

(例) 15時29分59秒



タイマー設定コマンド

(1) PRG/CLK(62H)：タイマープログラムモードに入ります。
(2) SHIFT－(64H) ：設定項目をシフトします。(－)
＋(63H) ：設定項目をシフトします。(＋)
(3) SET－(66H)：シフト動作終了後、設定内容を選択します。
＋(65H)：シフト動作終了後、設定内容を選択します。
(4) CANCEL(67H)：プログラム設定時に内容のキャンセル、キャンセルプログラム設定時に使用します。

設定方法はVTR本体操作パネルでの設定方法と同じです。
送信は1バイトごとにVTRからのACK（0AH）を確認しながら行って下さい。

オンスクリーン設定コマンド

(1) ON SCREEN ON(70H)：オンスクリーン表示をします。
OFF(71H)： オンスクリーン表示を消します。
次の（2）のコマンドはVTR本体操作パネルでの設定方法と同じです。
VTRからのACK（0AH）を確認しながら1バイトずつ送って下さい。
(2) ON SCREEN SELECT(74H)：オンスクリーン表示内容を切換えます。

- POSV＋(73H)：オンスクリーン表示を縦方向に移動します。(垂直位置)
- POSH＋(75H)：オンスクリーン表示を横方向に移動します。(水平位置)

その他の設定コマンド

(1) AL/PL RESET(E1H) ：アラーム記録中、このコマンドを送ると元の記録モードに戻り本体のAL表示が消灯します。AL表示が消灯時このコマンドを送るとアラーム／パワーロスのメモリー内容／回数をリセットします。
(2) COUNT RESET(E2H)：テープカウンター数値を0000にリセットします。

VTR各種情報収集コマンド

コマンドを送ると、VTRはコマンドに対応した情報を返します。

(1) DATE SENSE(BEH) ：VTR内に設定されている月、日、年を6バイトで返します。各バイトは30Hから39Hの値で30Hが数字の0に39Hが数字の9に対応します。
（例：10月14日、98年の場合、31H、30H、31H、34H、39H、38Hと返します。）
(2) TIME SENSE(BFH) ：VTR内に設定されている時、分、秒を6バイトで返します。各バイトは30Hから39Hの値で30Hが数字の0に39Hが数字の9に対応します。
（例：15時30分45秒の場合、31H、35H、33H、30H、34H、35Hと返します。）
(3) COUNT CODE(DOH)：VTRはカウンター値をカウンターの4桁めから4バイトで返します。
各バイトは30Hから39Hの値で、30Hが数字の0に39Hが数字の9に対応します。
（例：1234の場合、31H、32H、33H、34Hと返します。）
(4) DEVICE TYPE(D1H)：SR-9080の型名の下4文字をASCIIコードで返します。
39H、30H、38H、30H
(5) VTR INQ(FBH)：接続されている機器がVTRであることを調べるためのコマンドで、VTRはACK(0AH)を返します。
(6) PL/AL COUNT SENSE(D5H)：アラーム入力回数を3桁めから3バイト、パワーロスの回数を3桁めから3バイトで合計6バイトのデータをVTRは連続して返します。
各バイトは30Hから39Hの値で、30Hが数字の0に39Hが数字の9に対応します。
（例：アラーム入力回数が123回、パワーロスが45回の場合、31H、32H、33H、34H、35Hと返します。）
(7) HOUR METER SENSE(D2H)：アワーメーターの数値を4バイトの数字データで返します。
例：1234の場合、31H、32H、30H、33H、34Hと返します。）
(8) TL STATUS SENSE(D6H)：VTRはタイムラプスモード関連のデータを6バイト連続して返します。
各バイトの意味は次のとおりです。

第1、2バイト：録画／再生時間モード

バイトと録画／再生時間モードデータとの対応はMODE（7EH）と同じです。（参照：57ページ）

第3バイト：各種設定の状態

BIT	BITが1の時の内容
0	リピート録画モードが“ON”です。
1	電源が“ON”です。
2	ACイン録画モードが“ON”です。
3	オートリワインドモードが“ON”です。
4	オペレーションロックが“ON”です。＊
5	シリーズ録画モードが“ON”です。
6	テープエンドブザーが“ON”です。
7	アラームブザーが“ON”です。

＊オペレーションロックモードでもRS-232Cコマンドによる操作はできます。

第 9 章（別売）SA-K97 RS-232C インターフェースボード（つづき）

9-3 RS-232C プロトコル＆コマンド（つづき）

第4バイト：各種設定及び状態の内容

BIT	BITが1の時の内容
0	アラーム録画中です。
1	アラーム録画機能が“ON”です。
2	常に0です。
3	センサー録画機能が“ON”です。
4	外部録画機能が“ON”です。
5	Vパルスが“ON”です。
6	常に0です。
7	ワーニングブザーの設定が“ON”です。

第5バイト：各種設定の状態

BIT	BITが1の時の内容
0	常に1です。
1	ACアウトが連動です。
2	常に0です。
3	常に0です。
4	HDR録画が“ON”です。
5	自動録画チェック機能が“ON”です。
6	常に0です。
7	常に0です。

第6バイト：ワーニング状態の種類

HEX.データ	ワーニングの種類
0	異常なし
1	ローディングエラー
2	アンローディングエラー
3	サプライリールエラー
4	ドラムエラー
5	テイクアップリールエラー
6	キャプスタンエラー
7	カセットイジェクトエラー
8	DEW（つゆ付き）センサーエラー
9	録画チェックエラー
A	バッテリーバックアップエラー
B	入力信号エラー

(9) STATUS SENSE(D7H)：VTRの状態を5バイトで返します。

第1バイト

BIT	BITが1の時の内容
0 Error	受付不可能なコマンドを受け取ったことを示します。以降他のコマンドを受付けなくなります。このモードを解除するにはCLEAR ERROR（41H）をVTRに送って下さい。
1 未定義	常時0です。
2 未定義	常時0です。
3 Cassette out	テープがVTRに入っていません。
4 REC Inhibit	記録できないテープが入っています。この場合、記録系のコマンドは受付けません。
5 未定義	常時0です。
6 未定義	常時0です。
7 未定義	常時1です。

第2バイト

BIT	BITが1の時の内容
0 Tape End	テープ巻終わりセンサーが検出されています。
1 Tape Begin	テープ巻始めセンサーが検出されています。
2 未定義	常時0です。
3 Warning	VTR本体でワーニングが発生しました。＊
4 未定義	常時0です。
5 未定義	常時0です。
6 A EE Mode	外部から入力されている音声信号が出力されています。
7 V EE Mode	外部から入力されている映像信号が出力されています。

＊VTRに異常が発生しワーニングモードになった時、STATUS SENSE（D7H）で返される第2バイトの第3ビットが1になり、ワーニング状態であることを示します。
この場合、RS-232Cコマンドでワーニングを解除するにはCLEAR（56H）をVTRに送ってください。
VTRの操作でワーニングを解除するには［電源］ボタンで電源を入れ直してください。

第3バイト

BIT	BITが1の時の内容
0 未定義	常時0です。
1 Search Mode	サーチ中です。（VISS）
2 Repeat Mode	リピート録画中です。
3 未定義	常時0です。
4 Repeat	本体のリピート録画モードがONになっています。
5 Counter	カウンターメモリー機能がONです。
6 Timer REC ON	タイマーボタンが押されています。
7 未定義	常時0です。

第4バイト

BIT	BITが1の時の内容
0 未定義	常時0です。
1 REC Mode	記録中です。
2 Eject	テープを取出している最中です。
3 未定義	常時1です。
4 Stop Mode	停止中です。
5 REW Mode	巻戻し中です。
6 FF Mode	早送り中です。
7 PB Mode	再生中です。

第5バイト

BIT	BITが1の時の内容
0 Speed Code 0	VTRの現在の走行モードです。次表を参照下さい。
1 Speed Code 1	VTRの現在の走行モードです。次表を参照下さい。
2 Speed Code 2	VTRの現在の走行モードです。次表を参照下さい。
3 Speed Code 3	VTRの現在の走行モードです。次表を参照下さい。
4 Shuttle REV	巻戻し再生中です。
5 Shuttle FWD	早送り再生中です。
6 未定義	常時0です。
7 REC Pause Mode	一時停止中です。

9-3 RS-232C プロトコル＆コマンド（つづき）

第5バイト BIT 0/1/2/3 "Speed Code"の内容			
Speed Code		3210	
	BIT	0000	一時停止中。
		0001	タイムラプス再生中。
		0101	タイムラプス記録中または2H/6H再生中。
		1000	7又は13倍速早送り／巻戻し再生中。
		1001	21倍速早送り／巻戻し再生中。

（10） ALARM INPUT（06H）：SR-9080からのリターンコードです。録画モード中にアラーム信号が入力されたときに返されます。

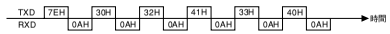
その他（入力したデータの修正／エラー時の対応）

SR-9080からのリターンコードについて（エラー関係のみ）

（1） ERROR（02H）：複数バイトから成るコマンドの2バイト目以降に、受付け不可能なコマンドをVTRが受け取るとERROR（02H）を返します。
この時、コマンドを送っても受付けなくなります。但し、ステータスセンスのみは返されます。
この状態を解除するには、CLEAR ERROR（41H）またはCLEAR（56H）をVTRに送ります。

CLEAR ERROR（41H）	インデックスサーチなどの数字の入力の直前の数字データ1バイトを取り消す場合に用い、エラー状態の解除にも使います。
CLEAR（56H）	コマンド全体を取消します。現在のモードを解除し、VTRを停止させます。エラー状態を解除します。

例） 記録・再生モードをL24Hモードに設定する。
32Hをミスインプットした。
41Hで32Hを取消し、33Hを入力する。



（2） NAK（0BH）：VTRがコマンドを受取る場合、第1バイトめで未定義コマンド、またはVTRとして機能を有しないコマンドを受け取った時に返すリターンコードです。この場合、CLEAR は必要ありません。
送ったコマンドがVTRが受付けるものかどうかチェックして下さい。

RS-232Cコマンドまとめ

VTR 操作コマンド	ページ
Power ON/OFF Play/REV Play Stop FF/REW Timer ON/OFF OPE LOCK ON/OFF Eject F-Field Step R-Field Step REC Check REC/REC Pause	56ページ
VISS FWD/REV VISS Search	57ページ

VTR 設定コマンド	ページ
記録／再生モード設定 Mode Shift Mode	57ページ
タイムプラスVTR操作モード TL STATUS	57ページ
日付・時刻設定 DATE SET TIME SET	58ページ
タイマー設定 PRG SHIFT ＋／－ SET ＋／－ CANCEL	58ページ
オンスクリーン設定 ON Screen ON/OFF ON Screen Select POSV ＋ POSH ＋	58ページ
その他設定 AL/PL Reset COUNT Reset	58ページ

情報収集コマンド	ページ	VTRからのリターン
COUNT Code Device Type VTR INQ PL/AL COUNT Sense Hour Meter Sense	58ページ	4 byte 4 byte 1 byte 6 byte 4 byte
TL Status Sense	58ページ	6 byte
Status Sense	59ページ	5 byte
DATE Sense	58ページ	6 byte
TIME Sense	58ページ	6 byte

VTR からのリターンコード	ページ
ACK	56ページ
NAK	60ページ
Error	60ページ
Cassette Out	56ページ
Completion Not Target	57ページ
Alarm Input	6oページ

その他	ページ
JVC Table 1 ON/OFF	56ページ

10-1 テープリールカウンター／テープ残量時間対応表

下表はテープリールカウンターの値で各録画／再生スピードモード時のテープ残量時間を知るための対応表です。下表はT-120カセットテープを使用した場合のテープ残量時間を示しています。
実際のテープ残量時間は下表とは異なることがあります。あくまでも目安としてお使いください。

[T-120 カセットテープ使用時]：テープリールカウンターがテープ頭位置で“0000”の場合のテープ残量時間

	録画／再生スピードモード											
HDR“切”	2H	6H	L12H	ー	L24H	48H	72H	120H	168H	240H	480H	960H
HDR“入”	2H	6H	ー	L18H	24H	48H	72H	120H	168H	240H	480H	960H
リールカウンタ 0	2時間2分	6時間8分	12時間17分	18時間26H	24時間35分	49時間10分	73時間45分	122時間56分	172時間6分	245時間52分	491時間45分	983時間30分
500	1時間47分	5時間22分	10時間44分	16時間6分	21時間29分	42時間58分	64時間27分	107時間25分	150時間23分	214時間51分	429時間42分	859時間25分
1,000	1時間32分	4時間38分	9時間17分	13時間55分	18時間34分	37時間8分	55時間42分	92時間51分	129時間59分	185時間42分	371時間24分	742時間48分
1,500	1時間19分	3時間57分	7時間55分	11時間52分	15時間50分	31時間40分	47時間31分	79時間12分	110時間53分	158時間24分	316時間49分	633時間38分
2,000	1時間6分	3時間19分	6時間38分	9時間58分	13時間17分	26時間35分	39時間53分	66時間29分	93時間5分	132時間58分	265時間57分	531時間55分
2,500	54分	2時間44分	5時間28分	8時間12分	10時間56分	21時間53分	32時間49分	54時間42分	76時間35分	109時間25分	218時間50分	437時間40分
3,000	43分	2時間11分	4時間23分	6時間34分	8時間46分	17時間32分	26時間18分	43時間51分	61時間24分	87時間43分	175時間26分	350時間53分
3,500	33分	1時間41分	3時間23分	5時間5分	6時間47分	13時間34分	20時間21分	33時間56分	47時間31分	67時間53分	135時間46分	271時間32分
4,000	24分	1時間14分	2時間29分	3時間44分	4時間59分	9時間59分	14時間58分	24時間57分	34時間56分	49時間55分	99時間50分	199時間40分
4,500	16分	50分	1時間41分	2時間32分	3時間22分	6時間45分	10時間8分	16時間54分	23時間40分	33時間48分	67時間37分	135時間14分
5,000	9分	29分	58分	1時間28分	1時間57分	3時間54分	5時間52分	9時間47分	13時間41分	19時間34分	39時間8分	78時間17分
5,500	3分	10分	21分	32分	43分	1時間26分	2時間9分	3時間35分	5時間2分	7時間11分	14時間23分	28時間46分
5,832	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分	0分

※・カセットテープをイジェクトすると、テープリールカウンターは“0000”にリセットされます。
・カウンターエンド出力機能を使ってのリピート録画またはオートリワインド時、テープがテープ頭まで巻き戻されると、テープリールカウンターは“0000”にリセットされます。（カウンターエンド出力機能：メニュースイッチ「カウンターエンド出力」を“切”以外に設定）

第 10 章　付録

10-2 背面パネルハーモニカ端子信号について

端　子	信号レベル	備　考
CAM SW OUT カメラ切換 信号出力	録画タイミング中 / 待機中 / 1フィールド / (タイムラプス録画) / 5m sec / GND / カメラ切換信号出力タイミング → 時間 信号出力タイミングは入出力設定メニュースイッチ「カメラ切換出力」で1フィールドまたは2フィールド（1フレーム）に設定できます。 左図は1フィールド設定時	オープンコレクター出力
ALARM IN アラーム 信号入力	HV: 5V / LV: 0V / Min. 400 msec	接地入力
ALARM RST IN アラーム 信号リセット 入力	HV: 5V～12V / Min. 400 msec	High入力
ALARM REC OUT アラーム録画 モード信号出力	HV: 12V （出力インピーダンス4.7kΩ） アラーム録画モード	High出力
TAPE END OUT テープエンド 信号出力	（録画モード・・・リピート録画ON／オートリワインドON時）HV: 12V / LV: 0V Max. 10mA / 約 2 sec （録画モード・・・リピート録画OFF／オートリワインドOFF時）テープエンド / マニュアル操作	接地出力
WARNING OUT ワーニング 信号出力	HV: 12V （出力インピーダンス 4.7kΩ） ワーニング / ワーニングリセット	High出力
CLOCK RESET IN クロック リセット入力	HV: 5V / LV: 0V / Min. 100 msec	接地入力
CLOCK RESET OUT クロック リセット出力	HV: 5V / LV: 0V / Min. 100 msec	接地出力
SERIES REC IN シリーズ録画 信号入力	HV: 5V / LV: 0V / 2.5～3 sec	接地入力
SERIES REC OUT シリーズ録画 信号出力	HV: 5V / LV: 0V / 2.5～3 sec	接地出力
SERIES REC IN 外部自動録画 信号入力	HV: 5V / 外部録画中 Min. 400 msec	接地入力

第 10 章　付録

10-3　保証とアフターサービスについて

1.保証書の記載内容ご確認と保存について

この商品には保証書を別途添付しております。保証書はお買上げ販売店でお渡ししますので所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保存してください。

2.保証期間について

保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理致します。その他詳細は保証書をご覧ください。

3.保証期間経過後の修理について

保証期間経過後の修理については、お買上げ販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理致します。

4.アフターサービスについてのお問い合わせ先

アフターサービスについてのご不明の点はお買上げ販売店、または別紙サービス窓口案内をご覧のうえ、最寄りのサービス窓口にご相談ください。

●修理を依頼されるときは

お買上げ販売店に次のことをお知らせください。

- ●タイムラプスビデオカセットレコーダー SR-9080
- ●お名前とおところ
- ●電話番号
- ●故障症状（詳しく）

5.廃棄について

この商品を廃棄する場合は、法令や地域の条例にしたがって適切に処理してください。

10-4　仕様

■記録方法　輝度：FM、クロマ：低域変換
■信号方式　日米標準テレビ方式（NTSC）
■テープスピード　33.35 mm／sec　標準モード（2Hモード）
11.12 mm／sec　3倍モード（6Hモード）
■記録／再生時間（T−120使用時）　2 時間（標準（2H）モード）
6 時間（3倍（6H）モード）,L12, L18, L24
24, 48, 72, 120, 168, 240, 480, 960 時間
（HDR録画“入”含む）
（タイムラプスモード：フィールド記録）
■巻戻し／早送り時間　約4分（T−120使用時）
■電源　AC100V　50／60Hz
■消費電力　18W（待機時 4W）
■電源出力　AC100V　50／60Hz　最大300W
連動／非連動切換可
■外形寸法　（幅）360×（高さ）115×（奥行）372 mm
■質量　約5.5 kg
■許容動作温度　5℃～40℃
■許容動作湿度　30% RH以上、80% RH以下
■許容保存温度　−20℃～60℃

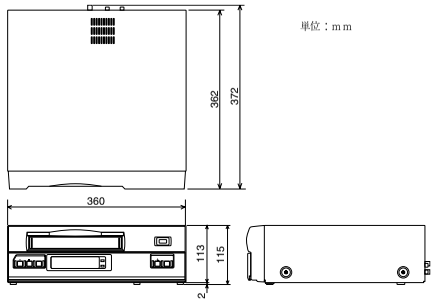
＜映像系＞
■信号入力　1.0Vp-p 75Ω 不平衡 BNC
■信号出力　1.0Vp-p 75Ω 不平衡 BNC
■水平解像度　300本以上
■映像S／N　43dB以上（2Hモード）

＜音声系＞
■トラック数　1（ノーマル）
■ライン入力　−8dBs 50KΩ 不平衡 RCA
■マイク入力　−67dBs 600Ω 不平衡
■ライン出力　−8dBs 1KΩ 不平衡 RCA
■周波数特性　100 Hz～10 kHz（2Hモード）
■音声S／N　40dB以上（2Hモード4%歪率レベル）
■ワウフラッター　0.15%WRMS以下（2Hモード）

＜タイムデート＞
■表示　年、月、日、時、分、秒、録画モード、アラーム入力データ、パワーロスデータ
■表示位置　可変
■文字サイズ　16H
■停電バックアップ　約2年間（使用環境により短かくなることがあります。）

＜アラーム＞
■アラーム入力　接地入力
■カメラ切換出力　負極性パルス出力（5m sec）
オープンコレクター出力
■付属品　電源コード　×1

外観寸法図



※仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。